

第 21 回市民意識調査結果報告書

平成 27 年 12 月

盛 岡 市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果と考察	
テーマ1	電子市役所について	
問1	所有している情報通信機器	3
問2	インターネットに対して期待するサービス	5
問3	情報化社会における不安や障害	8
問4	インターネットなどを利用した行政サービスへの期待	11
テーマ2	地域コミュニティについて	
問5	町内会・自治会と地区組織の違い	13
問6	町内会・自治会でのまちづくり活動への参加	15
問7	地区組織でのまちづくり活動への参加	18
問8	地区組織でのまちづくり活動や組織の必要性	21
テーマ3	文化芸術について	
問9	文化芸術活動の内容	23
問10	活動しない理由	25
問11	文化芸術鑑賞の内容	28
問12	鑑賞しない理由	31
問13	文化芸術鑑賞したい分野	34
問14	文化芸術との関わり	36
問15	文化芸術の振興	38
テーマ4	ごみの減量とリサイクルの推進について	
問16	ごみの減量やリサイクルで心がけていること	41
問17	ごみの減量やリサイクルに効果的な方策	45
問18	ごみ処理の有料化	48
問19	ごみの減量や処理に関する意見	50
テーマ5	住宅・住環境について	
問20	住宅の建て方	51
問21	住宅の所有関係	54
問22	住宅・住環境の評価	57
問23	住宅・住環境の重要度	59
問24	住み替え, リフォーム, 建て替えの意向	64
問25	住み替え, リフォーム, 建て替えの目的	67
問26	住み替え, リフォーム, 建て替えの課題	72

I 調査の概要

1 調査の目的

市民意識調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市民参画や協働によるまちづくり」を図るため隔年で実施しているものです。

2 調査テーマ

- | | |
|--------------------------------------|----|
| (1) 電子市役所について（担当：総務部情報企画室） | 4問 |
| (2) 地域コミュニティについて（担当：市民部市民協働推進課） | 4問 |
| (3) 文化芸術について（担当：市民部文化国際室） | 7問 |
| (4) ごみの減量とリサイクルの推進について（担当：環境部廃棄物対策課） | 4問 |
| (5) 住宅・住環境について（担当：建設部建築住宅課） | 7問 |

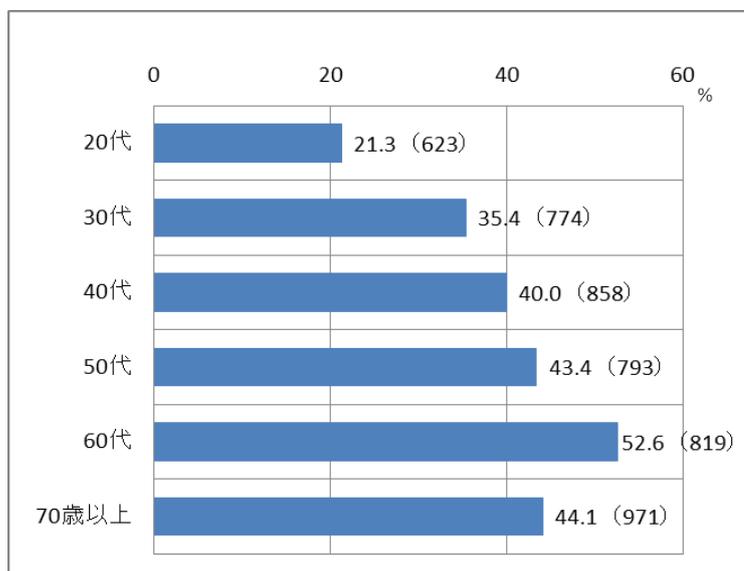
3 調査の設計

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 実施方法 | アンケート方式による調査 |
| (2) 調査地域 | 盛岡市全域 |
| (3) 調査対象者 | 満20歳以上の市民の2% |
| (4) 標本数 | 4,838人 |
| (5) 抽出方法 | 住民票ファイル（平成27年6月30日）から等間隔無作為抽出 |
| (6) 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| (7) 調査期間 | 平成27年8月12日～8月25日 |

4 調査の回収結果

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 対象者数 | 4,838人 |
| (2) 有効回収数 | 1,970人 |
| (3) 有効回収率 | 40.7% |

【年代別回収率】

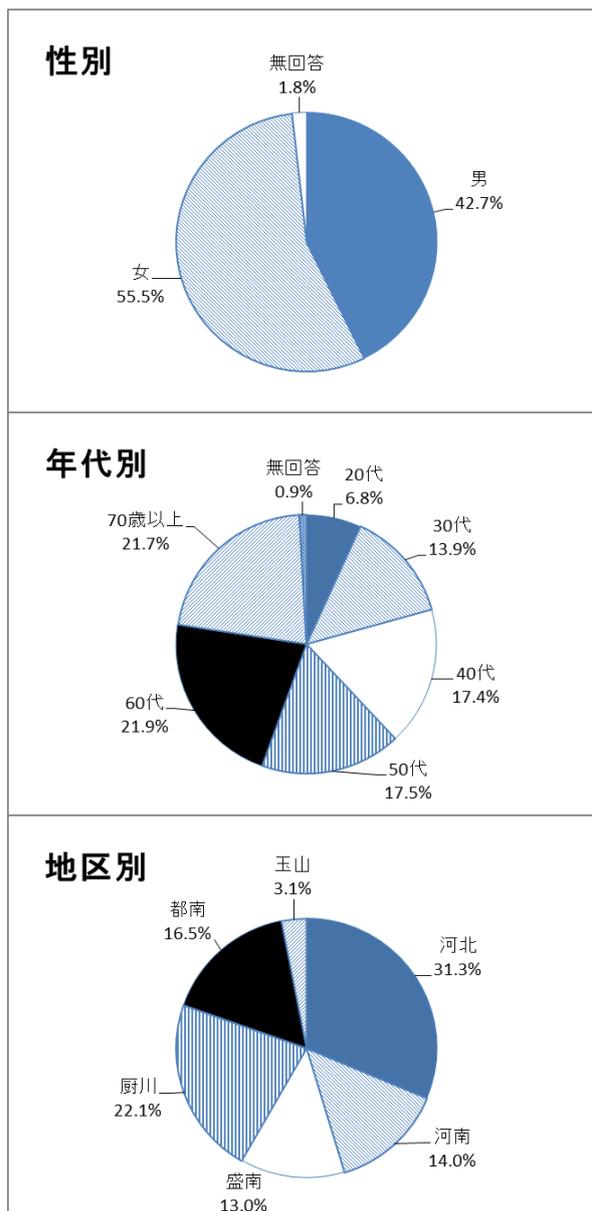


20代、30代の回収率が低いことから、低い年代の回収率を高めるための方法を検討する必要がある。

() 内の数は、その年代の対象者の人数

5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	1,970
【性別】	
男 性	841
女 性	1,093
無 回 答	36
【年代別】	
20 歳 ～ 29 歳	133
30 歳 ～ 39 歳	274
40 歳 ～ 49 歳	343
50 歳 ～ 59 歳	344
60 歳 ～ 69 歳	431
70 歳 以 上	428
無 回 答	17
【地区別】	
河 北	617
河 南	275
盛 南	257
厨 川	435
都 南	325
玉 山	61



【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城, 仁王, 上田, 緑が丘, 松園, 山岸, 上米内
2	河南	城南, 加賀野, 中野, 杜陵, 大慈寺, 築川
3	盛南	仙北, 本宮, 太田, 繫
4	厨川	西厨川, 土淵, 東厨川, 青山, みたけ, 北厨川
5	都南	見前, 飯岡, 乙部
6	玉山	好摩, 巻堀姫神, 渋民, 玉山藪川

6 留意事項について

- (1) 比率はすべて百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は回答者数を100とした場合の百分率です。
- (3) 「N」は、その設問の回答者の実数で、比率算出の基礎になります。

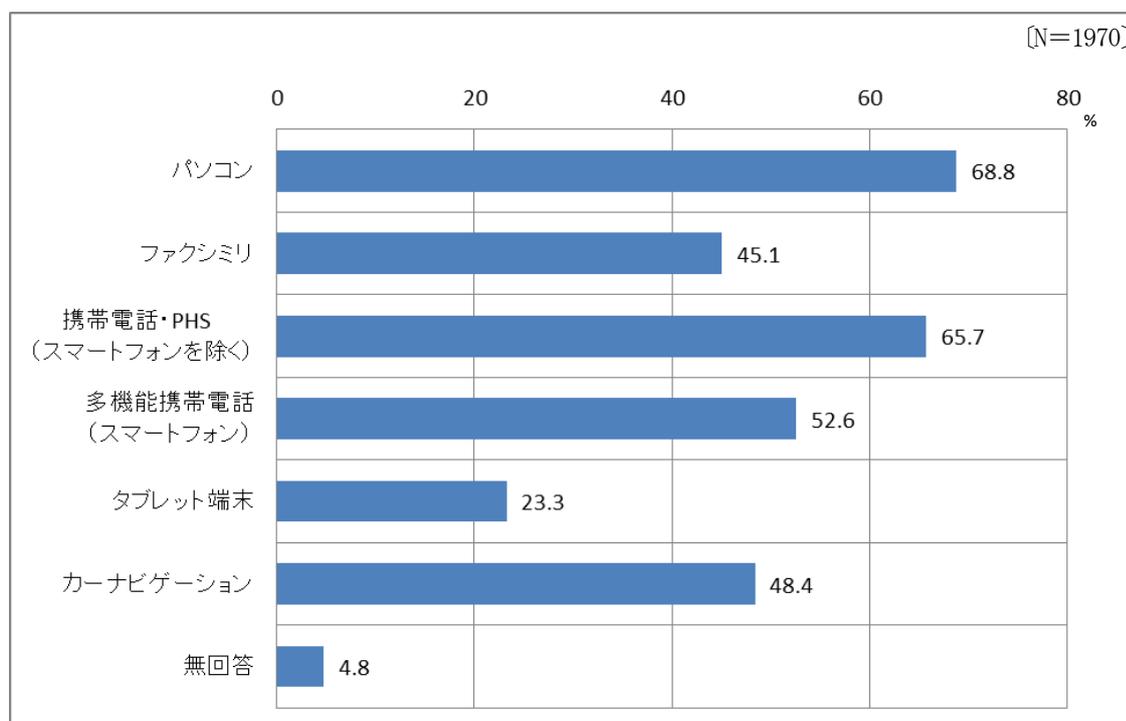
Ⅱ 調査結果と考察

《テーマ1 電子市役所について》

問1 あなたのご家庭には、どのような情報通信機器がありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 パソコン
- 2 ファクシミリ
- 3 携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）
- 4 多機能携帯電話（スマートフォン）
- 5 タブレット端末
- 6 カーナビゲーション

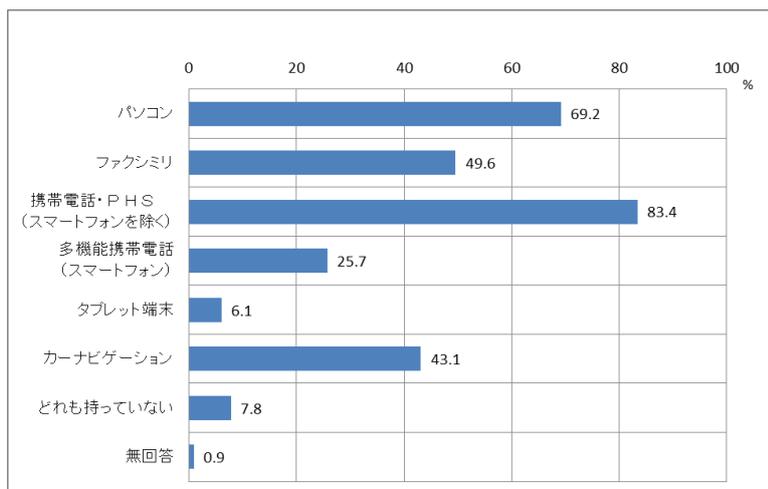
【全体】



平成24年度の調査より「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」の割合が0.79倍と減少したのに対し、「多機能携帯電話（スマートフォン）」の割合は2.05倍、「タブレット端末」の割合は3.82倍に増加している。「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」から「多機能携帯電話（スマートフォン）」へと生産が切り替わったことやこれまでよりも大きな画面で見られるほか、手軽に持ち運びができる「タブレット端末」の普及が進んでいるものと考えられる。

【参考】

平成 24 年度市民アンケート調査の同設問の結果



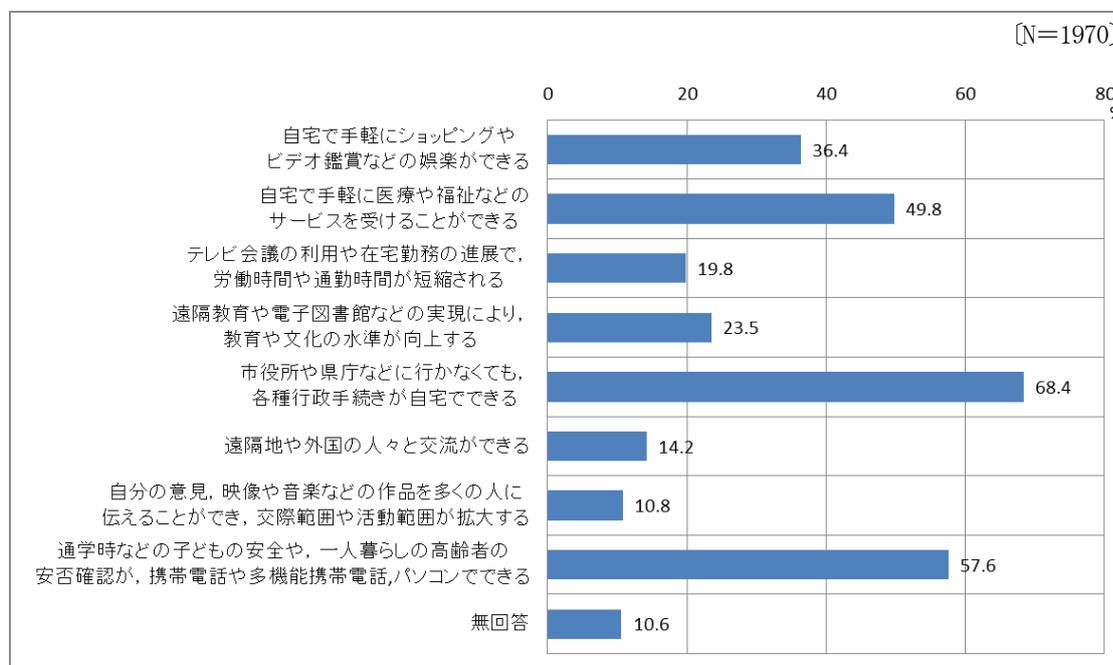
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	パソコン	ファクシミリ	携帯電話・PHS (スマートフォンを除く)	多機能携帯電話 (スマートフォン)	タブレット端末	カーナビゲーション	無回答
全 体		6083	1355	889	1295	1036	459	954	95
性別	男	2604	616	390	580	424	196	434	27
	女	3274	725	485	704	602	260	509	55
	無回答	75	14	14	11	10	3	11	13
年代	20～29 歳	405	109	35	55	118	32	71	0
	30～39 歳	876	214	73	128	233	90	169	1
	40～49 歳	1185	268	171	200	255	119	205	2
	50～59 歳	1238	285	209	253	210	98	197	3
	60～69 歳	1283	283	218	359	143	79	210	12
	70 歳以上	937	191	180	299	71	41	98	67
	無回答	29	5	3	1	6	0	4	10
地区	河北	1891	426	295	404	306	138	286	36
	河南	849	193	116	186	145	73	121	15
	盛南	810	184	112	161	141	63	141	8
	厨川	1328	298	196	293	215	104	201	21
	都南	1030	219	141	207	198	72	180	13
	玉山	175	35	29	44	31	9	25	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

問2 情報通信技術の進展により、インターネット利用が拡大していますが、あなたは、このインターネットに対して、今後どのようなサービスを期待しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 自宅で手軽にショッピングやビデオ鑑賞などの娯楽ができる
- 2 自宅で手軽に医療や福祉などのサービスを受けることができる
- 3 テレビ会議の利用や在宅勤務の進展で、労働時間や通勤時間が短縮される
- 4 遠隔教育や電子図書館などの実現により、教育や文化の水準が向上する
- 5 市役所や県庁などに行かなくても、各種行政手続きが自宅ができる
- 6 遠隔地や外国の人々と交流ができる
- 7 自分の意見、映像や音楽などの作品を多くの人に伝えることができ、交際範囲や活動範囲が拡大する
- 8 通学時などの子どもの安全や、一人暮らしの高齢者の安否確認が、携帯電話や多機能携帯電話、パソコンでできる

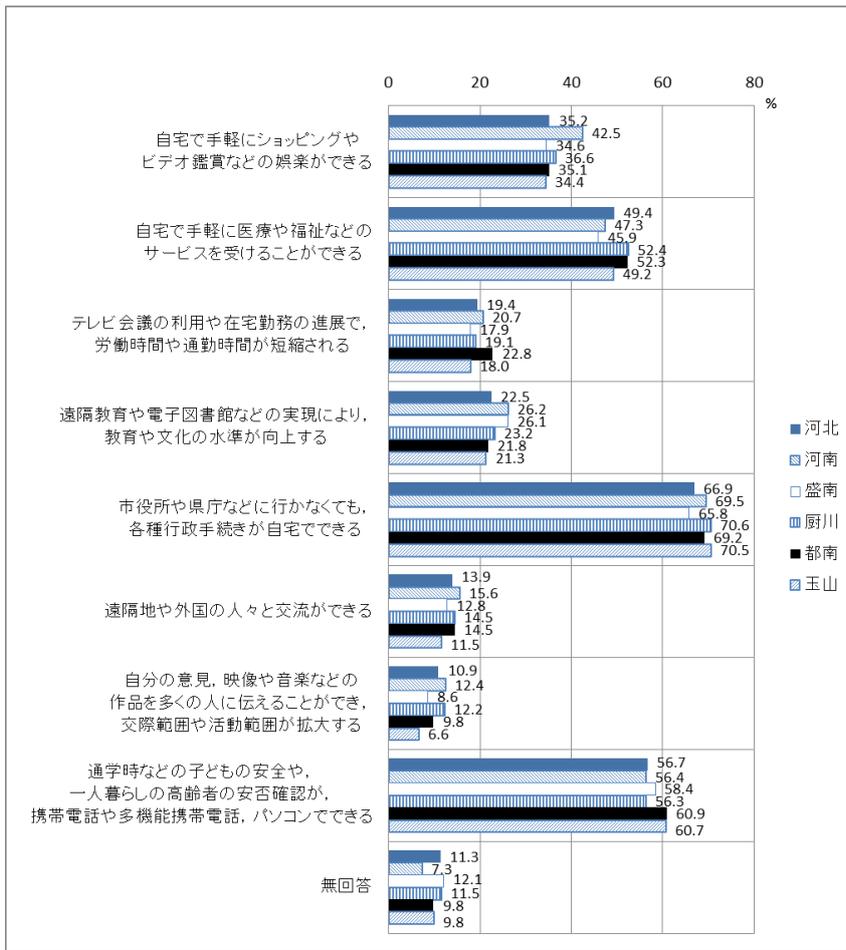
【全体】



「市役所や県庁などに行かなくても、各種行政手続きが自宅ができる」の割合が68.4%と最も高く、次いで「通学時などの子どもの安全や、一人暮らしの高齢者の安否確認が、携帯電話や多機能型携帯電話、パソコンでできる」の割合が57.6%、「自宅で手軽に医療や福祉などのサービスを受けることができる」の割合が49.8%と続いた。

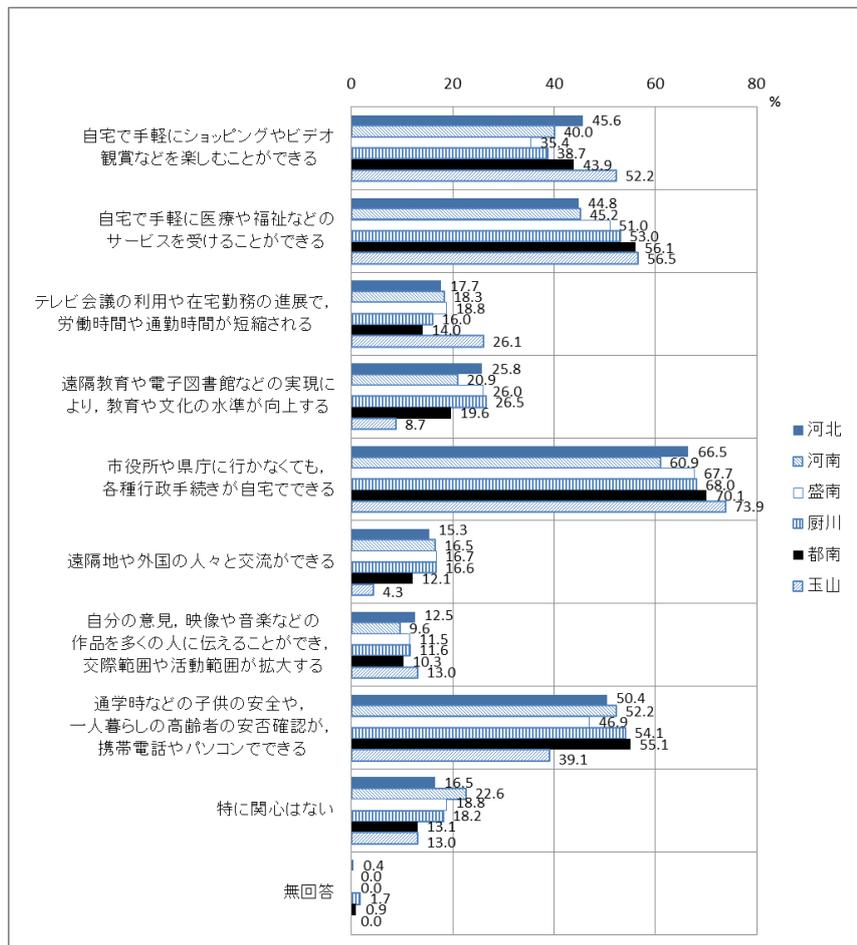
【地区別】

玉山地区では、平成 24 年度の調査より「遠隔教育や電子図書館などの実現により、教育や文化の水準が向上する」、「遠隔地や外国の人々と交流ができる」、「通学時などの子どもの安全や、一人暮らしの高齢者の安否確認が、携帯電話や多機能携帯電話、パソコンでできる」の割合が高くなっている。これは、玉山地区が高速通信回線のエリアとなっていないことから、この選択肢に関して期待が高いと考えられる。



【参考】

平成 24 年度市民アンケート調査の同設問の結果



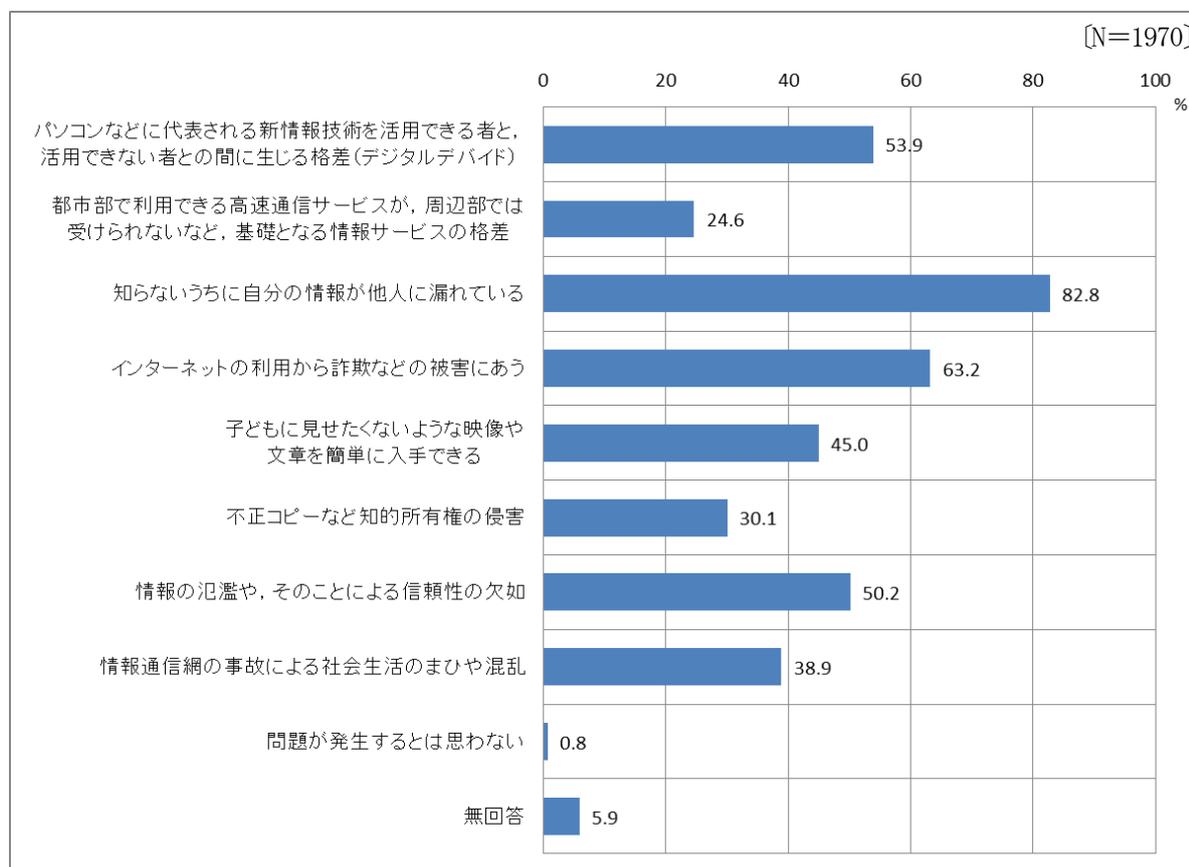
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	自宅で手軽にショッピングやビデオ鑑賞などの娯楽ができる	自宅で手軽に医療や福祉などのサービスを受けることができる	テレビ会議の利用や在宅勤務の進展で、労働時間や通勤時間が短縮される	遠隔教育や電子図書館などの実現により、教育や文化の水準が向上する	市役所や県庁などに行かなくても、各種行政手続きが自宅で行える	遠隔地や外国の人々と交流ができる	自分の意見、映像や音楽などの作品を多くの人に伝えることができ、交際範囲や活動範囲が拡大する	携帯電話や多機能携帯電話、パソコンでできる	通学時などの子どもの安全や、一人暮らしの高齢者の安否確認が、	無回答
全	体	5735	717	981	391	463	1348	279	212	1135	209	
性別	男	2560	340	441	187	217	604	118	116	461	76	
	女	3088	366	525	199	240	725	158	93	662	120	
	無回答	87	11	15	5	6	19	3	3	12	13	
年代	20～29歳	462	87	49	45	39	100	37	33	71	1	
	30～39歳	921	119	120	93	95	220	53	37	180	4	
	40～49歳	1070	130	155	105	104	254	59	31	221	11	
	50～59歳	1111	152	208	72	95	264	59	38	209	14	
	60～69歳	1164	132	229	46	89	276	45	42	249	56	
	70歳以上	962	92	212	27	39	226	24	29	196	117	
	無回答	45	5	8	3	2	8	2	2	9	6	
地区	河北	1767	217	305	120	139	413	86	67	350	70	
	河南	819	117	130	57	72	191	43	34	155	20	
	盛南	725	89	118	46	67	169	33	22	150	31	
	厨川	1289	159	228	83	101	307	63	53	245	50	
	都南	963	114	170	74	71	225	47	32	198	32	
	玉山	172	21	30	11	13	43	7	4	37	6	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

問3 あなたは、インターネットなどを活用した情報化社会において、どのような不安や障害を感じますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

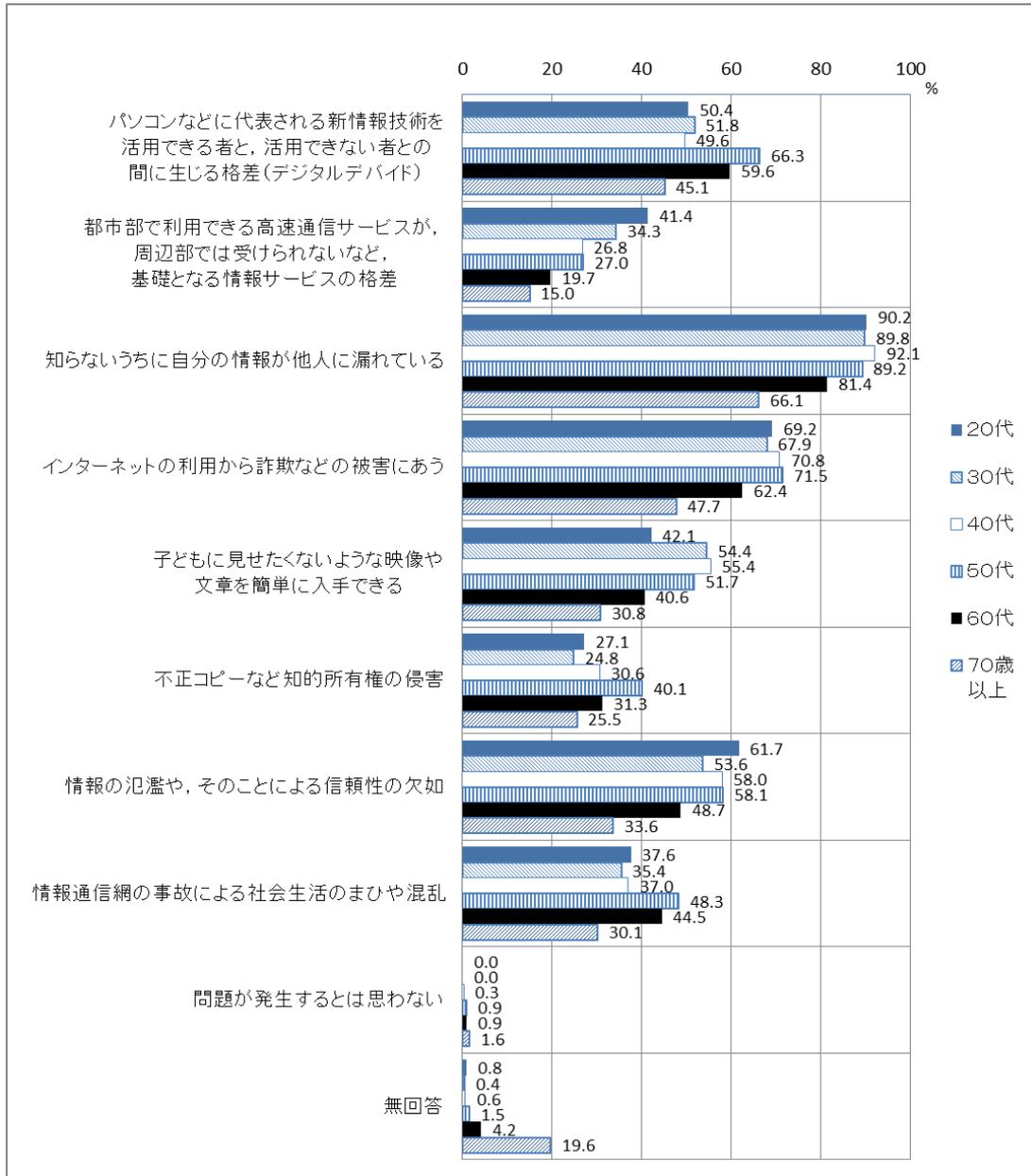
- 1 パソコンなどに代表される新情報技術を活用できる者と、活用できない者との間に生じる格差 (デジタルデバイド)
- 2 都市部で利用できる高速通信サービスが、周辺部では受けられないなど、基礎となる情報サービスの格差
- 3 知らないうちに自分の情報が他人に漏れている
- 4 インターネットの利用から詐欺などの被害にあう
- 5 子どもに見せたくないような映像や文章を簡単に入手できる
- 6 不正コピーなど知的所有権の侵害
- 7 情報の氾濫や、そのことによる信頼性の欠如
- 8 情報通信網の事故による社会生活のまひや混乱
- 9 問題が発生するとは思わない

【全体】



「知らないうちに自分の情報が他人に漏れている」の割合が82.8%と最も高く、次いで「インターネットの利用から詐欺などの被害にあう」の割合が63.2%、「パソコンなどに代表される新情報技術を活用できる者と、活用できない者との間に生じる格差 (デジタルデバイド)」の割合が53.9%と続いた。情報の漏えいや詐欺を不安と感じている割合が高いが、利用しなければ情報格差が生じてしまうと感じている割合も高いことが分かる。

【年代別】



「知らないうちに自分の情報が他人に漏れている」、「インターネットの利用から詐欺などの被害にあう」においては、各年代とも割合が高かった。インターネット社会において、年代共通の不安であることが分かる。

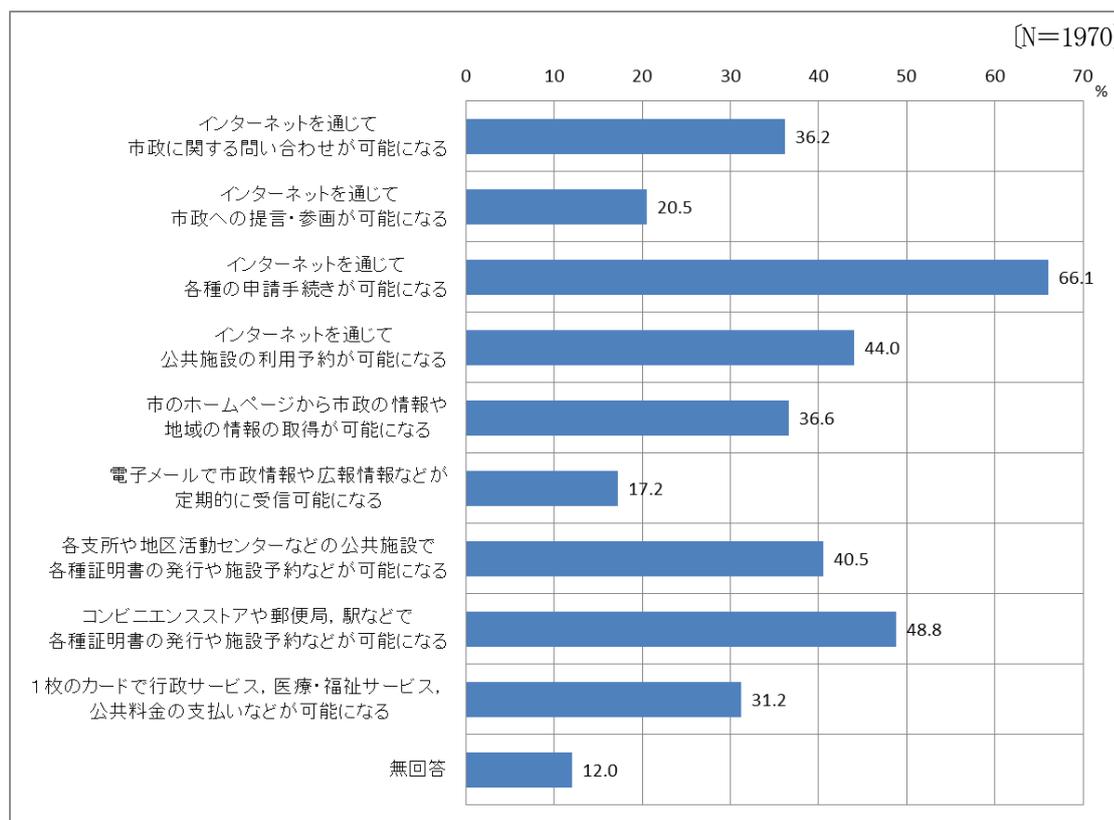
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	活用できない者との間に生じる格差（デジタルデバイド）	パソコンなどに代表される新情報技術を活用できる者と、活用できない者との間に生じる格差	都市部で利用できる高速通信サービスが、周辺部では受けられないなど、基礎となる情報サービスの格差	知らないうちに自分の情報が他人に漏れている	インターネットの利用から詐欺などの被害にあう	子どもに見せたくないような映像や文章を簡単に入手できる	不正コピーなど知的所有権の侵害	情報の氾濫や、そのことによる信頼性の欠如	情報通信網の事故による社会生活のまひや混乱	問題が発生するとは思わない	無回答
全	体	7789	1062	485	1631	1246	886	593	988	766	15	117	
性別	男	3267	441	225	697	518	336	256	406	337	9	42	
	女	4424	609	256	915	714	537	332	570	420	6	65	
	無回答	98	12	4	19	14	13	5	12	9	0	10	
年代	20～29歳	559	67	55	120	92	56	36	82	50	0	1	
	30～39歳	1130	142	94	246	186	149	68	147	97	0	1	
	40～49歳	1445	170	92	316	243	190	105	199	127	1	2	
	50～59歳	1564	228	93	307	246	178	138	200	166	3	5	
	60～69歳	1696	257	85	351	269	175	135	210	192	4	18	
	70歳以上	1349	193	64	283	204	132	109	144	129	7	84	
	無回答	46	5	2	8	6	6	2	6	5	0	6	
地区	河北	2462	337	150	509	393	277	194	318	246	3	35	
	河南	1119	156	77	236	174	122	95	143	99	1	16	
	盛南	944	123	60	213	155	110	71	114	84	1	13	
	厨川	1684	228	97	349	267	188	126	210	177	7	35	
	都南	1315	181	79	272	212	156	89	176	132	3	15	
	玉山	265	37	22	52	45	33	18	27	28	0	3	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

問4 市は、インターネットなどを利用したさまざまな行政サービスの提供に取り組んでいます。あなたは、この電子市役所にどのような効果を期待しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 インターネットを通じて市政に関する問い合わせが可能になる
- 2 インターネットを通じて市政への提言・参画が可能になる
- 3 インターネットを通じて各種の申請手続きが可能になる
- 4 インターネットを通じて公共施設の利用予約が可能になる
- 5 市のホームページから市政の情報や地域の情報の取得が可能になる
- 6 電子メールで市政情報や広報情報などが定期的に受信可能になる
- 7 各支所や地区活動センターなどの公共施設で各種証明書の発行や施設予約などが可能になる
- 8 コンビニエンスストアや郵便局、駅などで各種証明書の発行や施設予約などが可能になる
- 9 1枚のカードで行政サービス、医療・福祉サービス、公共料金の支払いなどが可能になる

【全体】



「インターネットを通じて各種の申請手続きが可能になる」の割合が66.1%と最も高く、次いで「コンビニエンスストアや郵便局、駅などで各種証明書の発行や施設予約などが可能になる」の割合が48.8%、「インターネットを通じて公共施設の利用予約が可能になる」の割合が44.0%と続いた。インターネットが普及したことにより、時間や場所にとらわれない行政サービスの提供を求めていることが考えられることから、電子申請・届出のオンライン化の促進に取り組んでいく必要があると思われる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

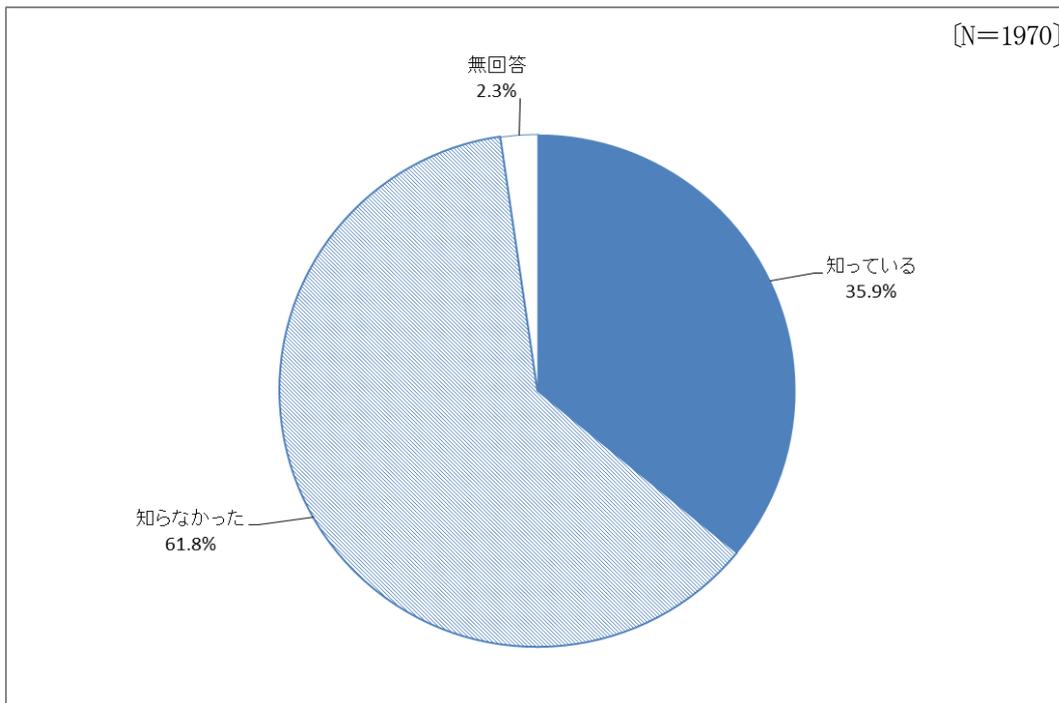
		実数	インターネットを通じて市政に関する問い合わせが可能になる	インターネットを通じて市政への提言・参画が可能になる	インターネットを通じて各種の申請手続きが可能になる	インターネットを通じて公共施設の利用予約が可能になる	市のホームページから市政の情報や地域の情報の取得が可能になる	電子メールで市政情報や広報情報などが定期的に受信可能になる	施設予約などが可能になる	各支所や地区活動センターなどの公共施設で各種証明書の発行や施設予約などが可能になる	コンビニエンスストアや郵便局、駅などで各種証明書の発行や施設予約などが可能になる	1枚のカードで行政サービス、医療・福祉サービス、公共料金の支払いなどが可能になる	無回答
全	体	6957	714	404	1302	866	721	339	798	962	614	237	
性別	男	3186	323	218	610	398	332	162	358	417	291	77	
	女	3678	381	180	679	458	381	171	432	532	317	147	
	無回答	93	10	6	13	10	8	6	8	13	6	13	
年代	20～29歳	540	58	26	104	77	43	14	61	94	59	4	
	30～39歳	1061	103	54	223	149	99	38	128	169	94	4	
	40～49歳	1313	134	78	266	170	140	67	152	201	99	6	
	50～59歳	1307	141	78	252	175	151	72	146	179	90	23	
	60～69歳	1470	154	98	258	183	160	86	163	170	130	68	
	70歳以上	1220	120	67	192	109	123	57	143	143	140	126	
	無回答	46	4	3	7	3	5	5	5	6	2	6	
地区	河北	2165	206	129	393	288	232	110	241	308	180	78	
	河南	955	108	59	180	121	105	45	90	126	87	34	
	盛南	861	98	49	163	97	96	33	102	110	80	33	
	厨川	1590	159	99	295	185	153	80	207	228	133	51	
	都南	1150	121	57	227	145	110	56	127	161	110	36	
	玉山	236	22	11	44	30	25	15	31	29	24	5	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

《テーマ2 地域コミュニティについて》

問5 あなたは町内会・自治会とは別に、概ね中学校の学区を範囲とする地区組織（コミュニティ推進地区・地区福祉推進会など）の活動があることをご存じでしたか。当てはまる方に○を付けてください。

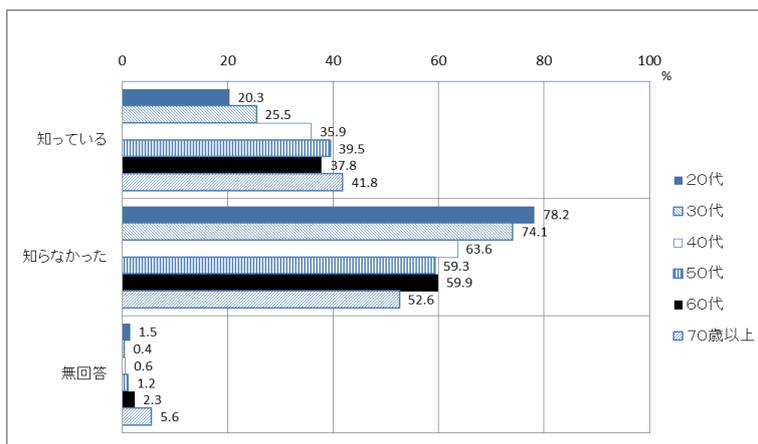
- 1 知っている
- 2 知らなかった

【全体】



「知らなかった」の割合が61.8%で、「知っている」の割合の35.9%を大きく上回る結果となった。市民にとってより身近な存在である町内会・自治会とは異なり、地区組織の認知度は低い状況にあることが分かった。

【年代別】



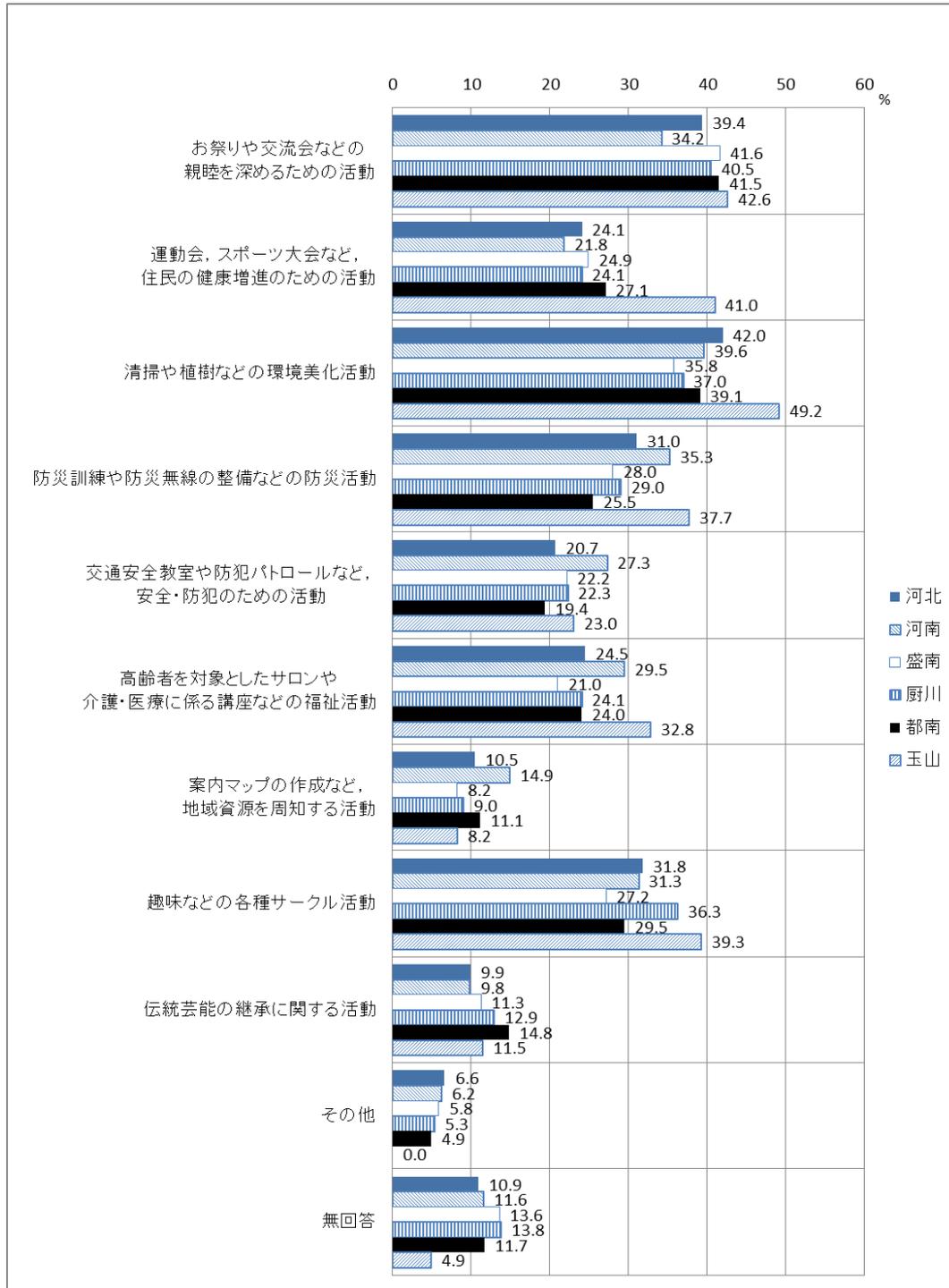
「知っている」の割合は年代が高くなるにつれて高くなる傾向にあり、反対に「知らなかった」の割合は年代が低くなるにつれて高くなる傾向にあることがわかった。現状、町内会・自治会や地区組織などの地域コミュニティ活動の主体は高齢者が担っており、低い年代の活動への参加率は極めて低い状況にある。年代別の回答分布は、そうした実態と比例する結果になった。

本市では、地区組織に対して、各種補助事業や支援を行っているが、今後は少子高齢化の進展等も踏まえながら、地域コミュニティ活動に低い年代の参加率を高める施策などについても、平行して検証していく必要があると思われる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	知っている	知らなかった	無回答
全 体		1970	707	1217	46
性別	男	841	289	536	16
	女	1093	399	669	25
	無回答	36	19	12	5
年代	20～29 歳	133	27	104	2
	30～39 歳	274	70	203	1
	40～49 歳	343	123	218	2
	50～59 歳	344	136	204	4
	60～69 歳	431	163	258	10
	70 歳以上	428	179	225	24
	無回答	17	9	5	3
地区	河北	617	207	398	12
	河南	275	101	171	3
	盛南	257	87	163	7
	厨川	435	162	258	15
	都南	325	124	194	7
	玉山	61	26	33	2
	無回答	0	0	0	0

【地区別】



玉山地区は、多くの選択肢において他の地区よりも回答割合が高い結果となっている。このことから、玉山地区は他の地区に比べ、地域コミュニティ活動への関心が高い傾向にあると思われる。

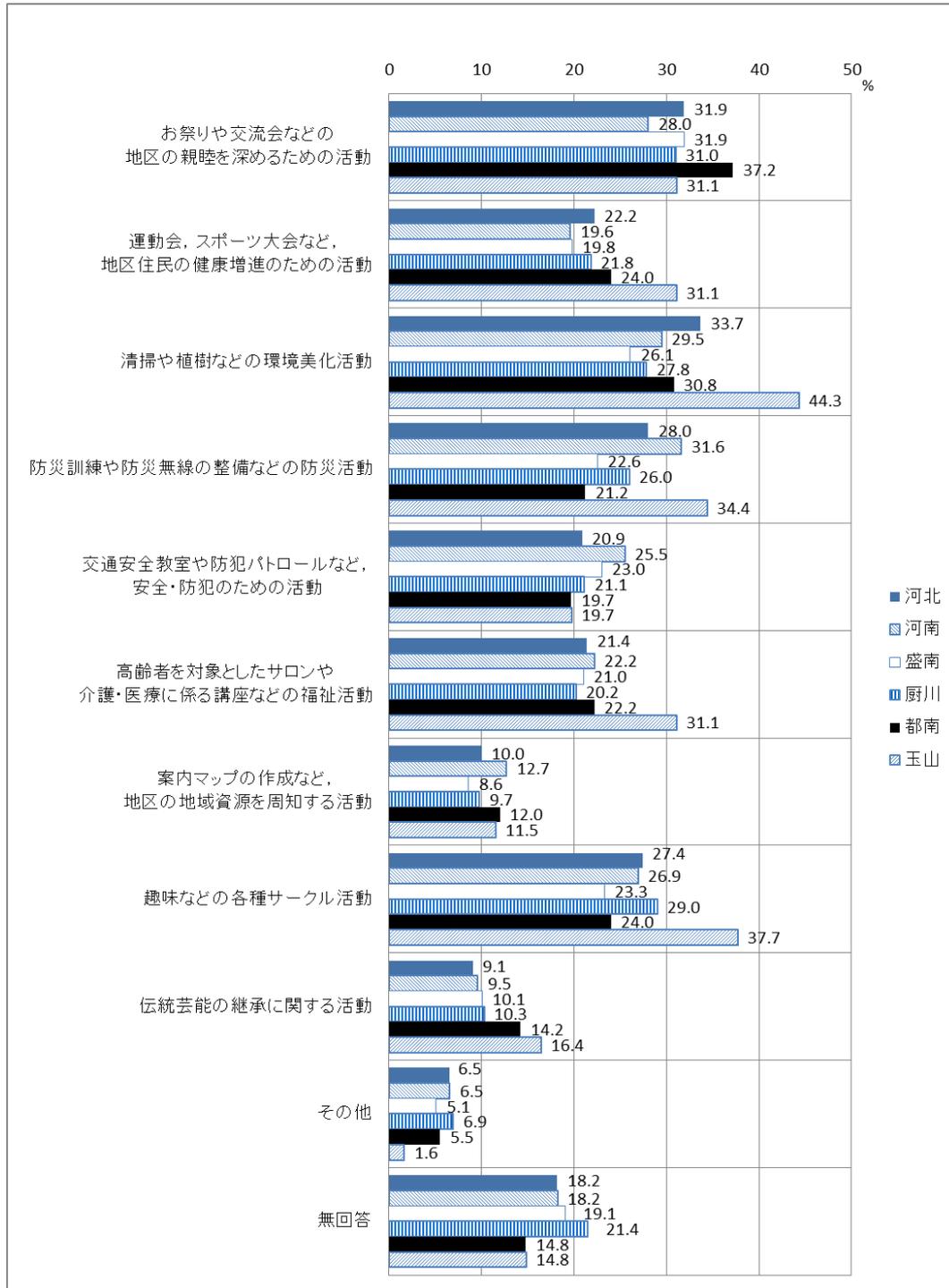
※「その他」に記載された主なもの

- ・除雪
- ・ごみの処理
- ・社会科見学
- ・まちづくりについての話し合い

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	お祭りや交流会などの親睦を深めるための活動	運動会、スポーツ大会など、住民の健康増進のための活動	清掃や植樹などの環境美化活動	防災訓練や防災無線の整備などの防災活動	交通安全教室や防犯パトロールなど、安全・防犯のための活動	高齢者を対象としたサロンや介護・医療に係る講座などの福祉活動	案内マップの作成など、地域資源を周知する活動	趣味などの各種サークル活動	伝統芸能の継承に関する活動	その他	無回答
全 体		4977	781	491	778	592	434	489	207	630	228	112	235
性別	男	2128	359	246	336	262	203	168	87	238	84	41	104
	女	2751	406	231	430	318	223	312	115	382	139	70	125
	無回答	98	16	14	12	12	8	9	5	10	5	1	6
年代	20～29 歳	315	68	38	39	35	22	14	12	43	24	5	15
	30～39 歳	670	150	74	81	69	59	42	25	68	57	17	28
	40～49 歳	850	156	82	151	107	90	53	34	74	53	18	32
	50～59 歳	914	121	81	146	132	82	88	41	123	43	23	34
	60～69 歳	1138	146	107	198	147	99	123	51	160	30	20	57
	70 歳以上	1050	135	104	156	97	80	165	42	157	20	27	67
	無回答	40	5	5	7	5	2	4	2	5	1	2	2
地区	河北	1551	243	149	259	191	128	151	65	196	61	41	67
	河南	719	94	60	109	97	75	81	41	86	27	17	32
	盛南	616	107	64	92	72	57	54	21	70	29	15	35
	厨川	1106	176	105	161	126	97	105	39	158	56	23	60
	都南	808	135	88	127	83	63	78	36	96	48	16	38
	玉山	177	26	25	30	23	14	20	5	24	7	0	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【地区別】



玉山地区は、多くの選択肢において他の地区よりも回答割合が高い結果となっている。このことから、玉山地区は他の地区に比べ、地域コミュニティ活動への関心が高い傾向にあると思われる。町内会・自治会での活動を聞いた問6 とほぼ同傾向の結果となっている。

※「その他」に記載された主なもの

- ・いじめ防止や不登校者への教育支援活動
- ・貧困者へのボランティア活動
- ・まちづくりについての話し合い

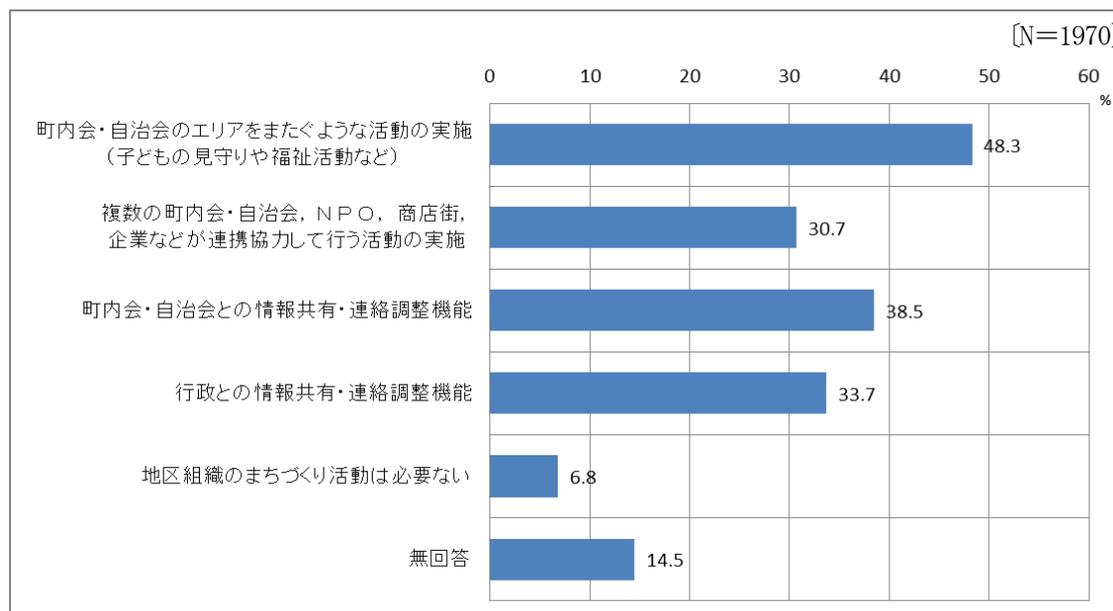
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	お祭りや交流会などの地区の親睦を深めるための活動	運動会、スポーツ大会など、地区住民の健康増進のための活動	清掃や植樹などの環境美化活動	防災訓練や防災無線の整備などの防災活動	交通安全教室や防犯パトロールなど、安全・防犯のための活動	高齢者を対象としたサロンや介護・医療に係る講座などの福祉活動	案内マップの作成など、地区の地域資源を周知する活動	趣味などの各種サークル活動	伝統芸能の継承に関する活動	その他	無回答
全 体		4469	631	434	604	521	426	426	207	530	209	120	361
性別	男	1976	291	220	273	236	205	165	95	220	79	47	145
	女	2408	326	202	323	274	218	251	107	302	126	72	207
	無回答	85	14	12	8	11	3	10	5	8	4	1	9
年代	20～29歳	319	70	41	40	32	28	15	13	37	24	4	15
	30～39歳	606	125	70	66	60	64	31	23	68	42	19	38
	40～49歳	787	133	82	114	103	94	46	36	61	53	22	43
	50～59歳	800	86	65	110	115	84	73	39	109	37	21	61
	60～69歳	1018	117	93	158	127	94	120	55	127	30	22	75
	70歳以上	901	94	78	111	79	61	135	38	125	22	32	126
	無回答	38	6	5	5	5	1	6	3	3	1	0	3
地区	河北	1415	197	137	208	173	129	132	62	169	56	40	112
	河南	633	77	54	81	87	70	61	35	74	26	18	50
	盛南	541	82	51	67	58	59	54	22	60	26	13	49
	厨川	980	135	95	121	113	92	88	42	126	45	30	93
	都南	733	121	78	100	69	64	72	39	78	46	18	48
	玉山	167	19	19	27	21	12	19	7	23	10	1	9
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問8 概ね中学校の学区を範囲とする地区組織のまちづくり活動や組織にはどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 町内会・自治会のエリアをまたぐような活動の実施（子どもの見守りや福祉活動など）
- 2 複数の町内会・自治会，NPO，商店街，企業などが連携協力して行う活動の実施
- 3 町内会・自治会との情報共有・連絡調整機能
- 4 行政との情報共有・連絡調整機能
- 5 地区組織のまちづくり活動は必要ない

【全体】



「町内会・自治会のエリアをまたぐような活動の実施（子どもの見守りや福祉活動など）」の割合が48.3%と最も高く、次いで「町内会・自治会との情報共有・連絡調整機能」の割合が38.5%、「行政との情報共有・連絡調整機能」の割合が33.7%と続いた。本市の地域協働事業に該当する「複数の町内会・自治会，NPO，商店街，企業などが連携協力して行う活動の実施」の割合は30.7%で，具体的な活動や組織のあり方を記した選択肢の中では，最も低い割合となっている。このことから，地域コミュニティ活動とNPOなどの活動をいかにマッチングさせていくかについて，そのあるべき姿や仕組みを検証・検討していく必要があると思われる。なお，「地区組織のまちづくり活動は必要ない」の割合は6.8%と低く，地区組織そのものの必要性については，一定の評価を得ている結果だと思われる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	町内会・自治会のエリアをまたぐような活動の実施（子どもの見守りや福祉活動など）	複数の町内会・自治会、NPO、商店街、企業などが連携協力して行う活動の実施	町内会・自治会との情報共有・連絡調整機能	行政との情報共有・連絡調整機能	地区組織のまちづくり活動は必要ない	無回答
全 体		3398	951	605	759	664	134	285
性別	男	1483	375	298	326	302	67	115
	女	1857	561	296	424	353	65	158
	無回答	58	15	11	9	9	2	12
年代	20～29 歳	213	68	45	43	36	16	5
	30～39 歳	443	136	97	87	84	15	24
	40～49 歳	580	173	100	134	120	26	27
	50～59 歳	607	170	100	147	126	22	42
	60～69 歳	788	220	141	179	144	32	72
	70 歳以上	743	176	119	166	150	22	110
	無回答	24	8	3	3	4	1	5
地区	河北	1081	299	201	246	199	49	87
	河南	487	135	89	107	99	22	35
	盛南	425	124	70	90	83	17	41
	厨川	746	219	129	167	142	22	67
	都南	542	139	97	120	116	23	47
	玉山	117	35	19	29	25	1	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0

《テーマ3 文化芸術について》

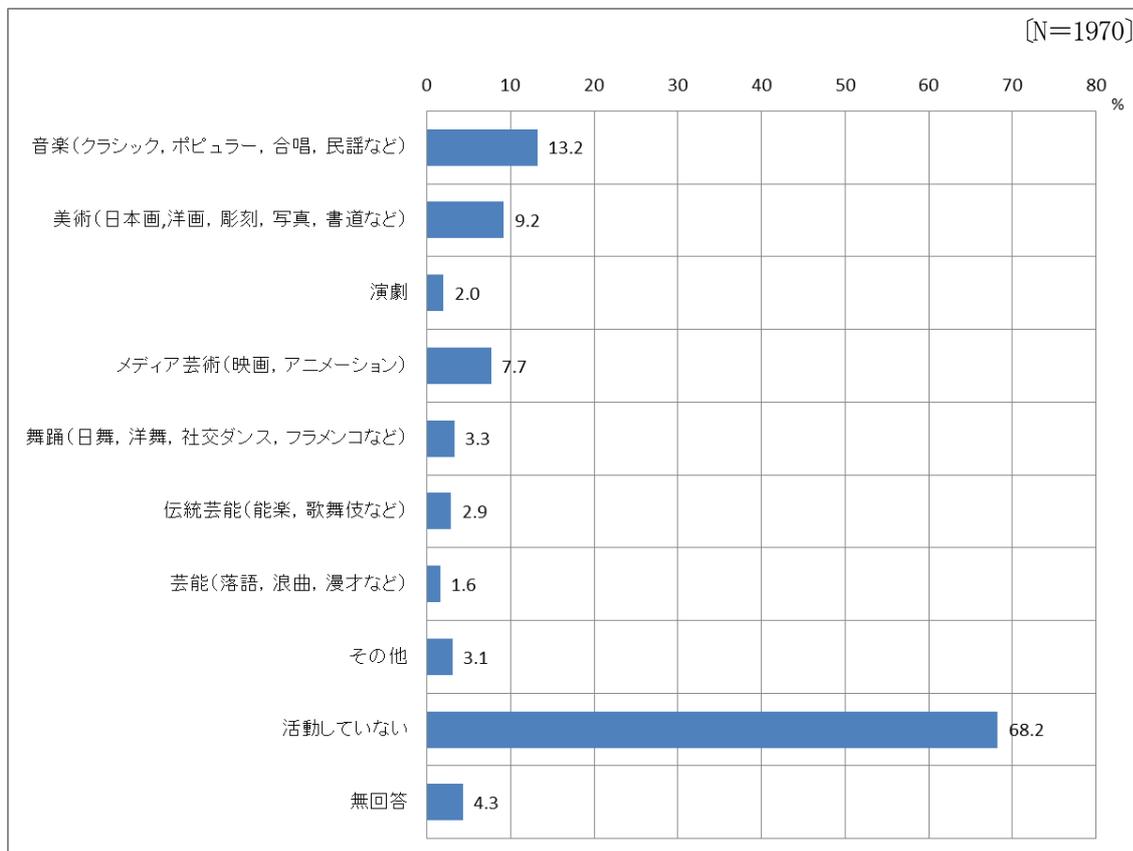
問9 ここ1年間でどのような文化芸術活動を行いましたか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 音楽（クラシック，ポピュラー，合唱，民謡など）
- 2 美術（日本画，洋画，彫刻，写真，書道など）
- 3 演劇
- 4 メディア芸術（映画，アニメーション）
- 5 舞踊（日舞，洋舞，社交ダンス，フラメンコなど）
- 6 伝統芸能（能楽，歌舞伎など）
- 7 芸能（落語，浪曲，漫才など）
- 8 その他（ ）
- 9 活動していない

1から8を選んだ方は、
問11へ進んでください

→ 9を選んだ方は、問10へ進んでください

【全体】



「活動していない」の割合が約7割と最も高いことから気軽に文化芸術活動に親しんでもらう機会の提供方法を検討していく必要がある。

※「その他」に記載された主なもの

- ・茶道
- ・手芸
- ・華道・生け花・フラワーアレンジメント
- ・俳句・短歌
- ・詩吟
- ・陶芸

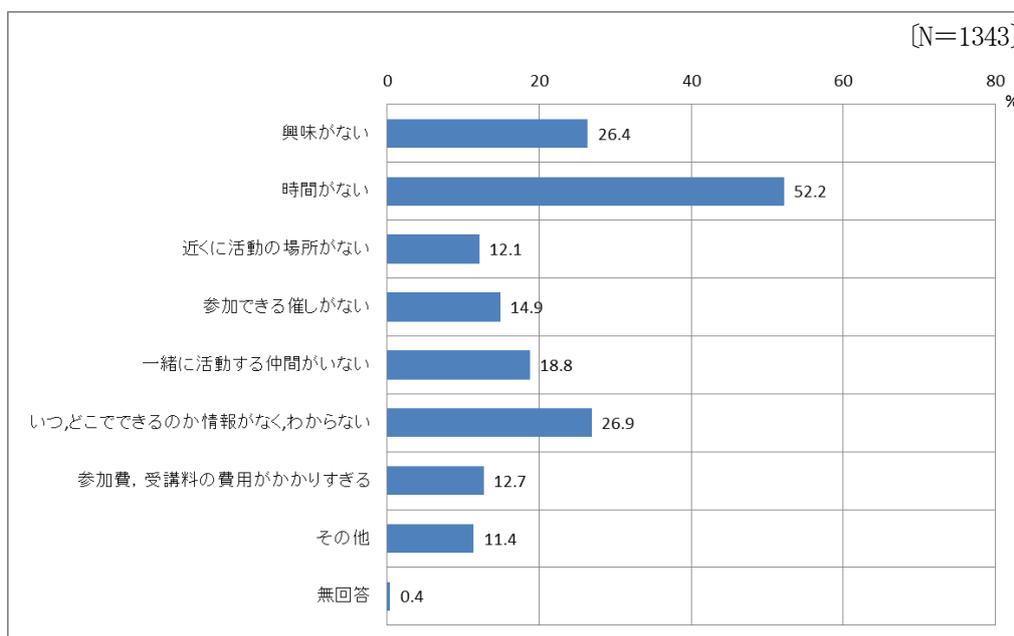
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	音楽 (クラシック, ポピュラー, 合唱, 民謡など)	美術 (日本画, 洋画, 彫刻, 写真, 書道など)	演劇	メディア芸術 (映画, アニメーション)	舞踊 (日舞, 洋舞, 社交ダンス, フラメンコなど)	伝統芸能 (能楽, 歌舞伎など)	芸能 (落語, 浪曲, 漫才など)	その他	活動していない	無回答
全 体		2276	260	182	39	152	65	58	31	61	1343	85
性別	男	953	104	66	14	64	12	26	16	21	595	35
	女	1279	148	110	25	85	51	30	15	39	731	45
	無回答	44	8	6	0	3	2	2	0	1	17	5
年代	20～29 歳	165	21	10	2	20	5	8	3	5	87	4
	30～39 歳	323	49	28	7	33	7	10	1	6	178	4
	40～49 歳	383	32	26	6	37	6	8	4	6	254	4
	50～59 歳	402	43	27	12	24	10	9	8	13	251	5
	60～69 歳	492	55	43	6	23	10	6	6	17	304	22
	70 歳以上	488	56	44	6	12	26	15	9	14	262	44
	無回答	23	4	4	0	3	1	2	0	0	7	2
地区	河北	729	98	76	13	44	24	21	10	19	408	16
	河南	324	39	25	8	28	9	4	7	11	182	11
	盛南	294	29	21	3	18	9	10	2	8	181	13
	厨川	490	52	29	8	32	16	8	3	11	306	25
	都南	378	38	28	7	28	7	14	8	10	222	16
	玉山	61	4	3	0	2	0	1	1	2	44	4
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

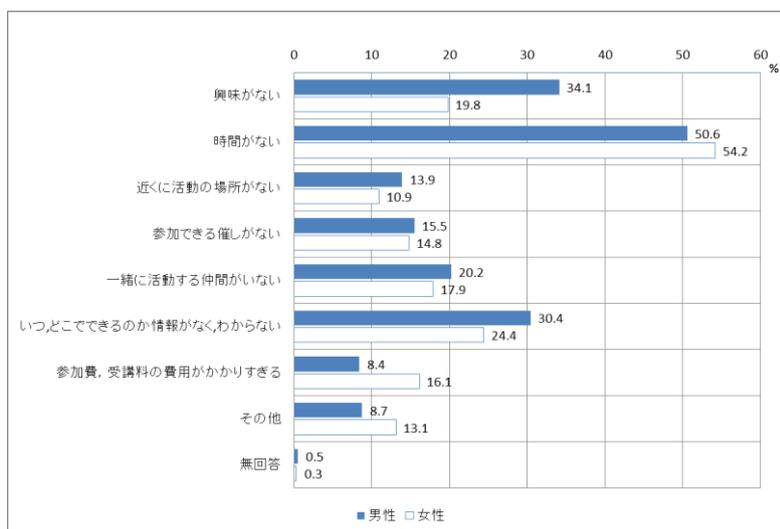
問10 問9で「9」を選んだ方にお聞きします。ここ1年間で文化芸術活動を行わなかったのはなぜですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 興味がない
- 2 時間がない
- 3 近くに活動の場所がない
- 4 参加できる催しがない
- 5 一緒に活動する仲間がいない
- 6 いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない
- 7 参加費、受講料の費用がかかりすぎる
- 8 その他 ()

【全体】



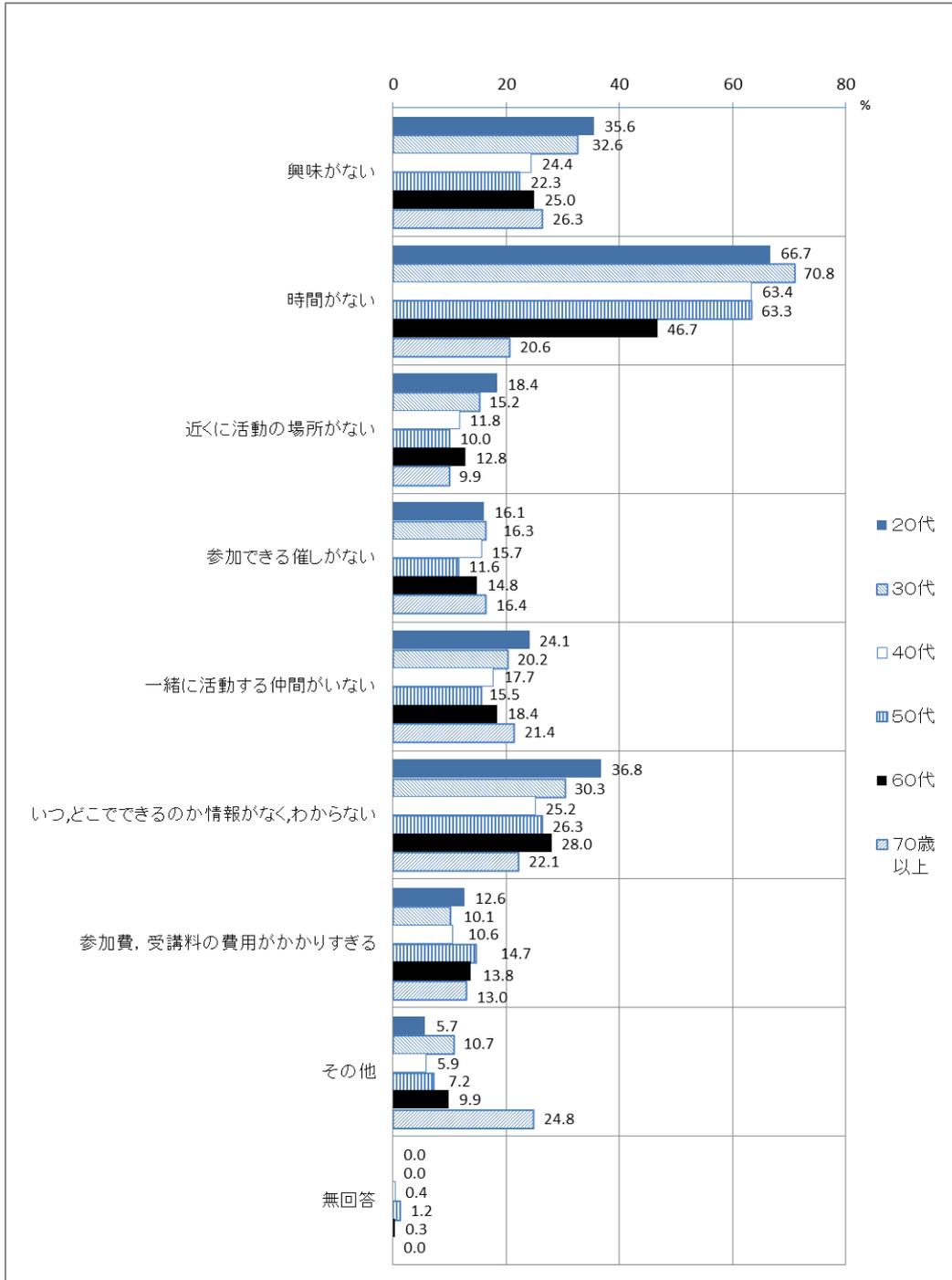
「時間がない」の割合が52.2%と最も高いが、次いで「いつどこでできるのか情報がなく、わからない」の割合が26.9%と続いた。活動場所等の情報提供が重要で、提供方法についてさらに検討していく必要がある。



【性別】

「興味がない」の割合は、男性が女性より14.3ポイント高い結果となっており、男性の方が文化芸術同活動に対する関心が低い傾向が見られる。

【年代別】



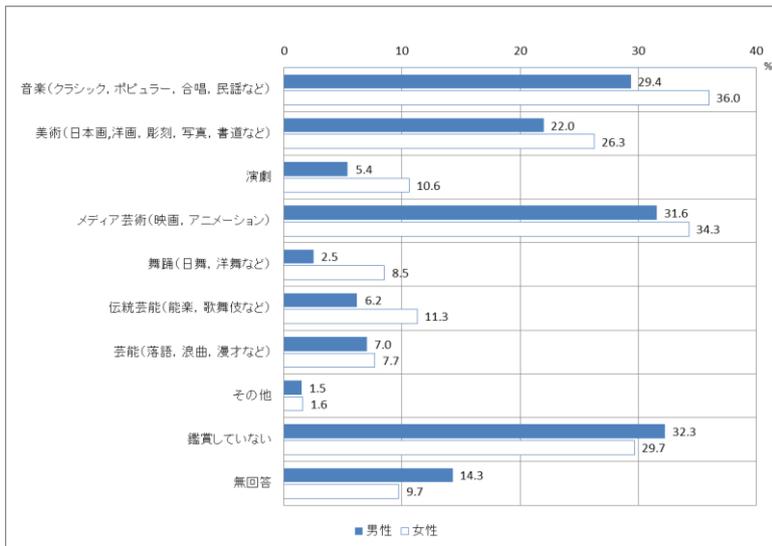
「時間がない」の割合が20代から50代まで高く、60代以上との差が大きい。これは、仕事、子育て等の影響によるものと考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・病気など身体的理由
- ・育児・介護・看護
- ・高齢のため
- ・人間関係に対する不安
- ・交通が不便

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数	興味がない	時間がない	近くに活動の場所がない	参加できる催しがない	一緒に活動する仲間がない	いつ、どこまでできるのか情報がなくわからない	参加費、受講料の費用がかかりすぎる	その他	無回答
全 体		2361	355	701	163	200	253	361	170	153	5
性別	男	1085	203	301	83	92	120	181	50	52	3
	女	1254	145	396	80	108	131	178	118	96	2
	無回答	22	7	4	0	0	2	2	2	5	0
年代	20～29 歳	188	31	58	16	14	21	32	11	5	0
	30～39 歳	367	58	126	27	29	36	54	18	19	0
	40～49 歳	445	62	161	30	40	45	64	27	15	1
	50～59 歳	432	56	159	25	29	39	66	37	18	3
	60～69 歳	516	76	142	39	45	56	85	42	30	1
	70 歳以上	405	69	54	26	43	56	58	34	65	0
	無回答	8	3	1	0	0	0	2	1	1	0
地区	河北	699	109	212	44	52	71	103	50	55	3
	河南	336	41	99	20	28	41	57	30	20	0
	盛南	330	48	94	21	29	41	51	26	19	1
	厨川	516	71	163	37	51	49	78	28	39	0
	都南	407	71	109	31	35	44	64	34	18	1
	玉山	73	15	24	10	5	7	8	2	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

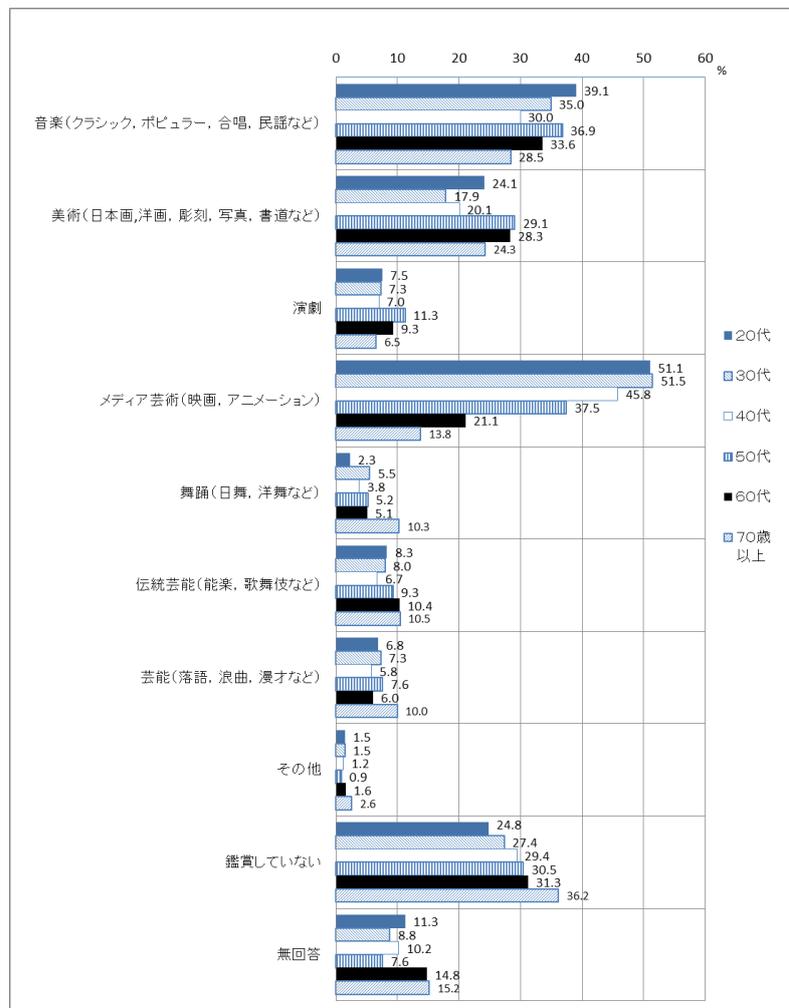


【性別】

全ての項目において男性より女性の割合が高い結果となっている。どの分野においても女性が芸術鑑賞に関心が高いことがうかがえる。

【年代別】

「メディア芸術(映画、アニメーション)」の割合は20代から40代が高く、年代が高くなるにつれて低くなっている。一方、「鑑賞していない」の割合は、年代が高くなるにつれて高くなっている。



※「その他」に記載された主なもの

- ・茶道
- ・囲碁・将棋
- ・華道

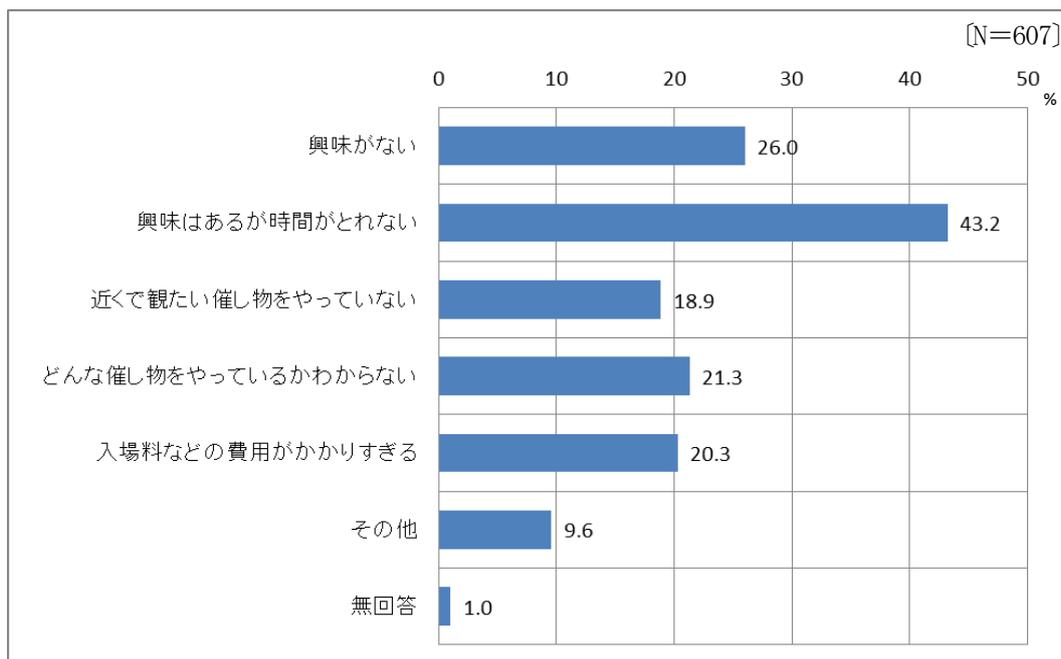
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	音楽 (クラシック, ポピュラー, 合唱, 民謡など)	美術 (日本画 洋画, 彫刻, 写真, 書道など)	演劇	メディア芸術 (映画, アニメーション)	舞踊 (日舞, 洋舞など)	伝統芸能 (能楽, 歌舞伎など)	芸能 (落語, 浪曲, 漫才など)	その他	鑑賞していない	無回答
全 体		3254	650	481	162	650	116	181	144	31	607	232
性別	男	1280	247	185	45	266	21	52	59	13	272	120
	女	1921	394	287	116	375	93	123	84	18	325	106
	無回答	53	9	9	1	9	2	6	1	0	10	6
年代	20～29 歳	235	52	32	10	68	3	11	9	2	33	15
	30～39 歳	466	96	49	20	141	15	22	20	4	75	24
	40～49 歳	549	103	69	24	157	13	23	20	4	101	35
	50～59 歳	605	127	100	39	129	18	32	26	3	105	26
	60～69 歳	697	145	122	40	91	22	45	26	7	135	64
	70 歳以上	676	122	104	28	59	44	45	43	11	155	65
	無回答	26	5	5	1	5	1	3	0	0	3	3
地区	河北	1087	229	175	55	210	46	65	53	9	182	63
	河南	498	102	68	36	111	19	30	27	2	70	33
	盛南	429	88	61	18	90	17	29	17	3	78	28
	厨川	657	130	95	31	123	20	25	21	10	146	56
	都南	502	87	72	20	106	13	27	23	6	106	42
	玉山	81	14	10	2	10	1	5	3	1	25	10
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

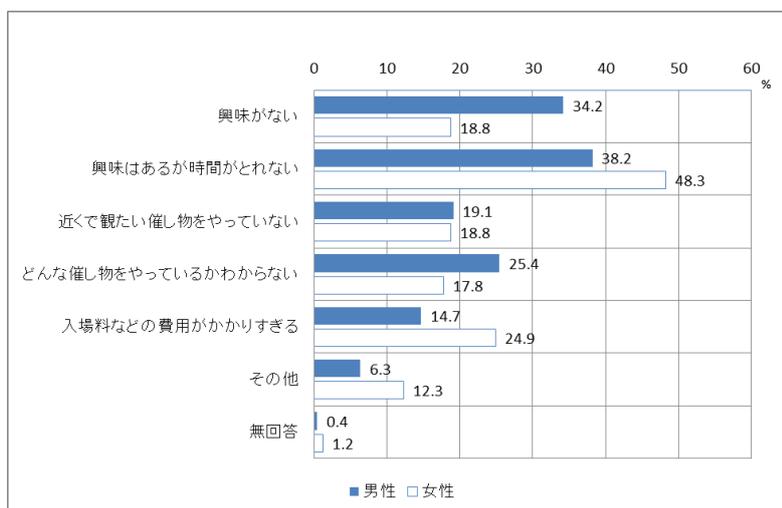
問12 問11で9を選んだ方にお聞きします。ここ1年間で芸術鑑賞を行わなかったのはなぜですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 興味がない
- 2 興味はあるが時間がとれない
- 3 近くで観たい催し物をやっていない
- 4 どんな催し物をやっているかわからない
- 5 入場料などの費用がかかりすぎる
- 6 その他 ()

【全体】



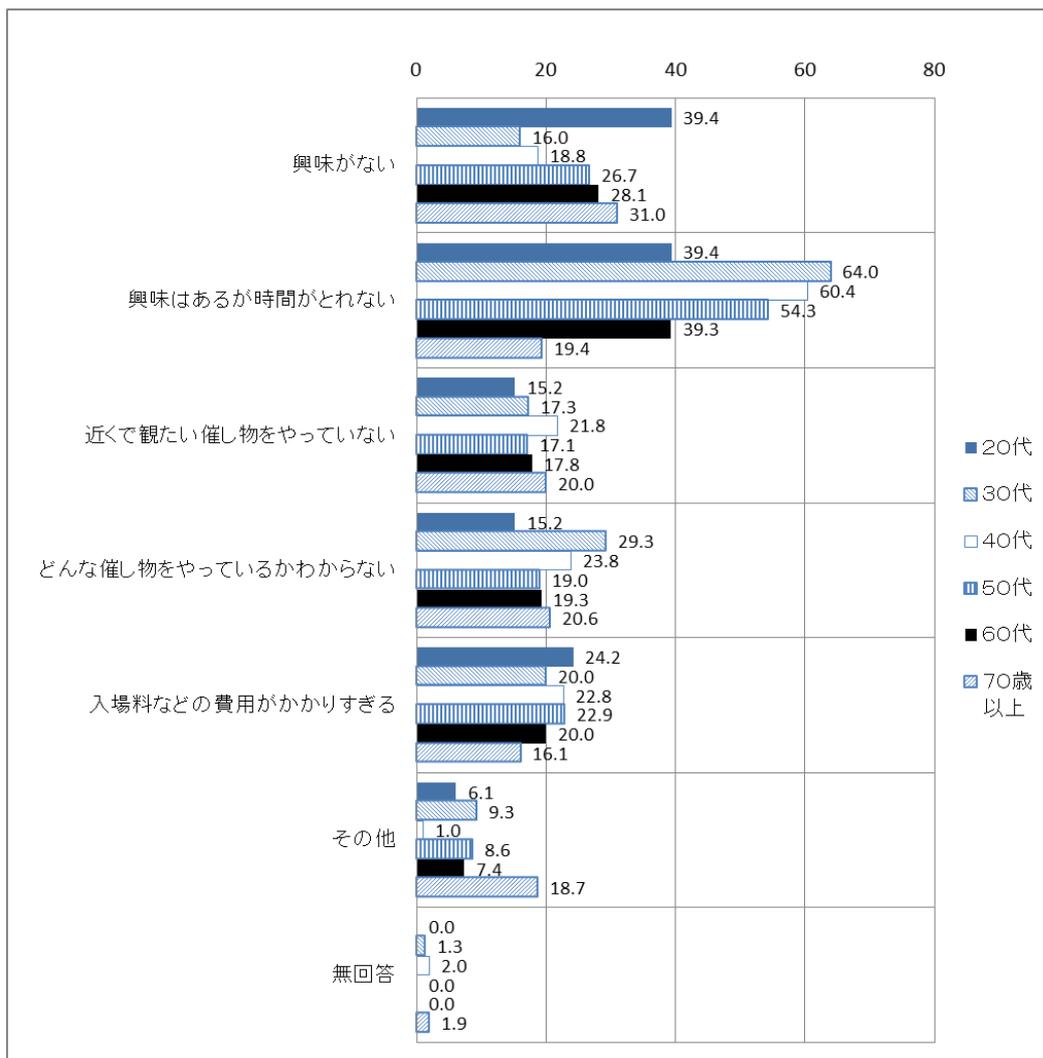
「興味はあるが時間が取れない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「興味がない」の割合が26.0%、「どんな催し物をやっているかわからない」の割合が21.3%と続いた。このことから鑑賞者を増やすためには、情報提供が重要で周知の工夫の必要があると考えられる。



【性別】

「興味がない」の割合は、男性が女性より15.4ポイント高く、男性の関心が低い結果となっている。また、「興味はあるが時間がとれない」、「入場料などの費用がかかりすぎる」の割合は女性が男性より約10ポイント高くなっており、他の項目に比べ男女差がはっきり出ている。

【年代別】



「興味はあるが時間が取れない」の割合は、30代から50代で50%を超え他の年代と比べて高く、仕事世代、子育て世代が時間を取りにくい傾向がある。仕事帰りに立ち寄れるような開催時間や、託児を行うなど世代に配慮した工夫をする必要があると考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・病気など身体的理由
- ・育児、介護等のため
- ・人混みが苦手
- ・駐車場が高い

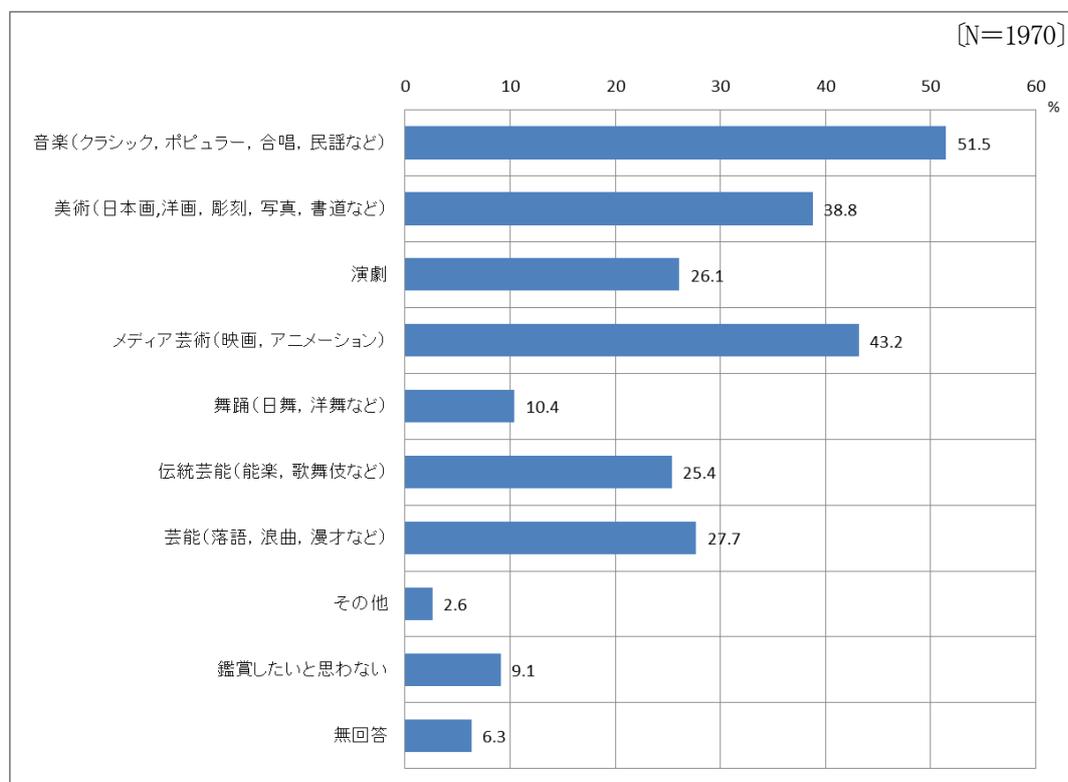
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	興味がない	興味はあるが時間がとれない	近くで観たい催し物をやっていない	どんな催し物をやっているかわからない	入場料などの費用がかかりすぎる	その他	無回答
全 体		851	158	262	115	129	123	58	6
性別	男	376	93	104	52	69	40	17	1
	女	462	61	157	61	58	81	40	4
	無回答	13	4	1	2	2	2	1	1
年代	20～29 歳	46	13	13	5	5	8	2	0
	30～39 歳	118	12	48	13	22	15	7	1
	40～49 歳	152	19	61	22	24	23	1	2
	50～59 歳	156	28	57	18	20	24	9	0
	60～69 歳	178	38	53	24	26	27	10	0
	70 歳以上	198	48	30	31	32	25	29	3
	無回答	3	0	0	2	0	1	0	0
地区	河北	252	47	79	33	37	34	19	3
	河南	99	13	28	7	18	21	11	1
	盛南	115	21	39	19	19	14	3	0
	厨川	189	34	60	27	25	27	15	1
	都南	162	38	45	18	27	25	8	1
	玉山	34	5	11	11	3	2	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

問 13 今後鑑賞したい分野は、どのような分野になりますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 音楽（クラシック、ポピュラー、合唱、民謡など）
- 2 美術（日本画、洋画、彫刻、写真、書道など）
- 3 演劇
- 4 メディア芸術（映画、アニメーション）
- 5 舞踊（日舞、洋舞など）
- 6 伝統芸能（能楽、歌舞伎など）
- 7 芸能（落語、浪曲、漫才など）
- 8 その他（）
- 9 鑑賞したいと思わない

【全体】



問 11 では「鑑賞していない」が 30.8%だったが、この問 13 では、「鑑賞したいと思わない」が 9.1%で、また、鑑賞したい分野も実際に鑑賞した割合よりどの分野でも高く、芸術鑑賞に関する潜在的な関心は高いと考えられる。このことから、公演内容をさらに検討していく必要がある。

※「その他」に記載された主なもの

- ・工芸
- ・囲碁・将棋
- ・建築
- ・茶

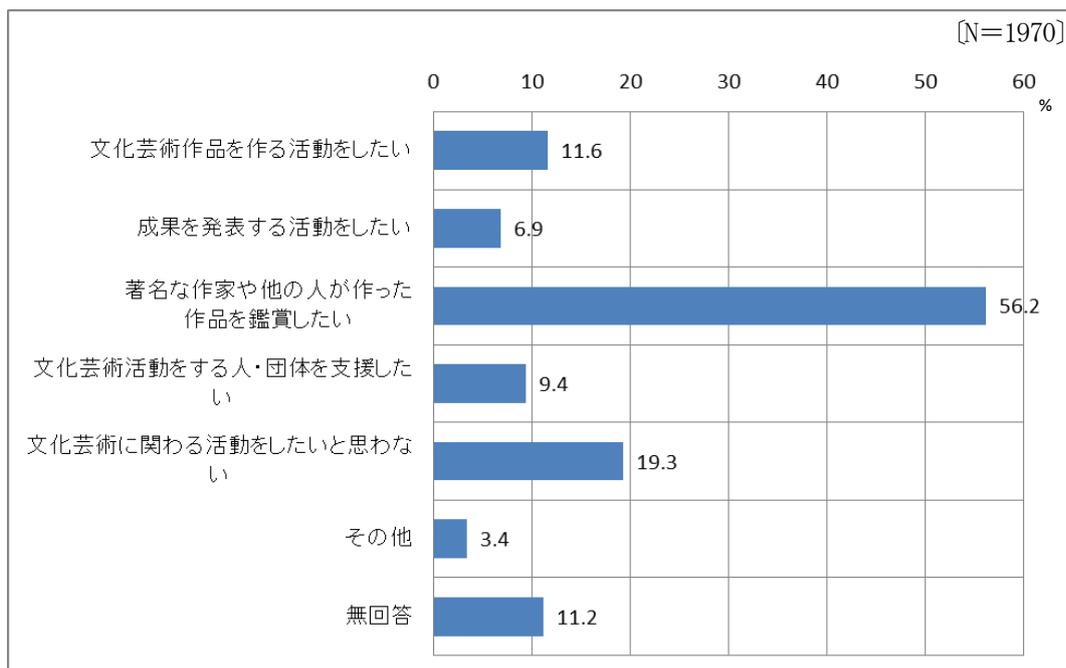
【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数	音楽 (クラシック, ポピュラー, 合唱, 民謡など)	美術 (日本画, 洋画, 彫刻, 写真, 書道など)	演劇	メディア芸術 (映画, アニメーション)	舞踊 (日舞, 洋舞など)	伝統芸能 (能楽, 歌舞伎など)	芸能 (落語, 浪曲, 漫才など)	その他	鑑賞したいと思わない	無回答
全 体		4749	1014	765	514	852	204	501	545	51	179	124
性別	男	1804	385	314	147	339	33	161	250	26	100	49
	女	2864	615	438	360	504	163	329	285	24	76	70
	無回答	81	14	13	7	9	8	11	10	1	3	5
年代	20～29 歳	337	71	49	41	78	16	34	30	6	12	0
	30～39 歳	695	153	106	78	166	22	72	73	7	13	5
	40～49 歳	854	186	137	102	193	27	85	89	5	21	9
	50～59 歳	948	203	147	115	182	31	103	114	6	29	18
	60～69 歳	1000	218	179	102	148	49	95	123	10	41	35
	70 歳以上	873	173	139	73	81	55	106	112	17	62	55
	無回答	42	10	8	3	4	4	6	4	0	1	2
地区	河北	1572	341	249	176	264	69	186	170	25	56	36
	河南	737	159	112	87	138	39	80	85	8	17	12
	盛南	648	131	109	65	119	31	75	79	2	21	16
	厨川	950	205	156	100	177	35	82	108	8	45	34
	都南	719	154	119	72	132	26	69	88	7	34	18
	玉山	123	24	20	14	22	4	9	15	1	6	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問 14 あなたはこれから文化芸術にどのように関わっていきたいですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 文化芸術作品を作る活動をしたい
- 2 成果を発表する活動をしたい
- 3 著名な作家や他の人が作った作品を鑑賞したい
- 4 文化芸術活動をする人・団体を支援したい
- 5 文化芸術に関わる活動をしたくない
- 6 その他 ()

【全体】



「著名な作家や他の人が作った作品を鑑賞したい」の割合が56.2%と最も高く、鑑賞に関心が高い傾向となっている。

※「その他」に記載された主なもの

- ・交流や継承が図れるような活動

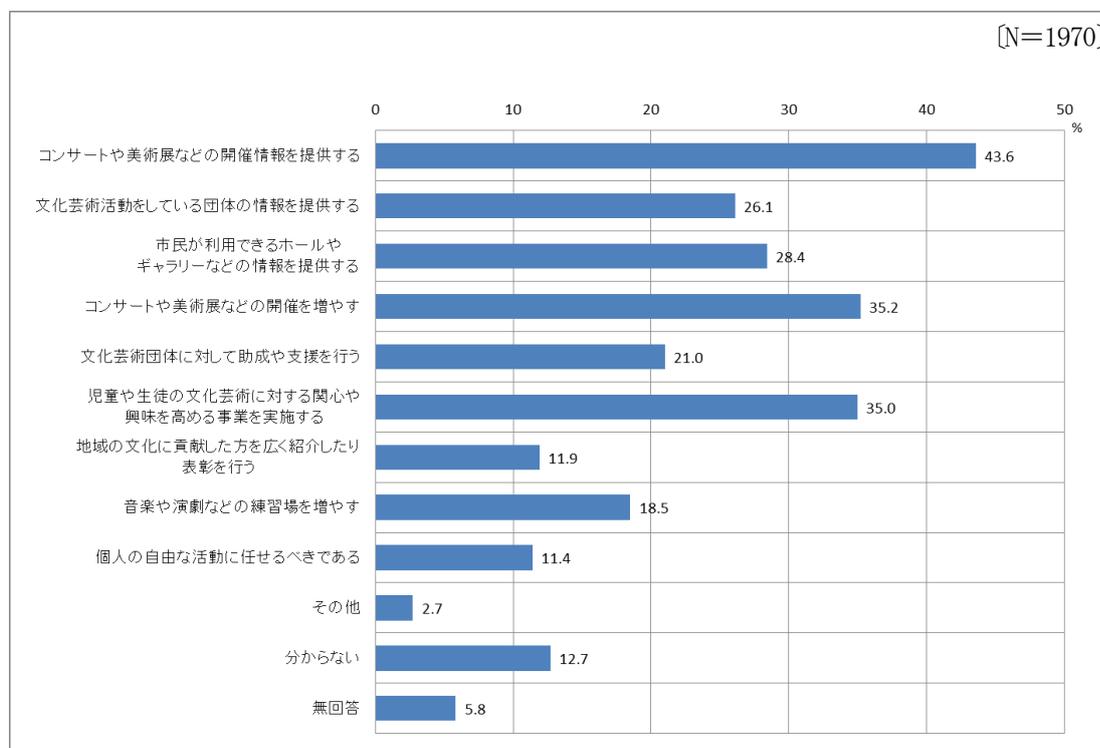
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	文化芸術作品を作る活動をしたい	成果を発表する活動をしたい	著名な作家や他の人が作った作品を鑑賞したい	文化芸術活動をする人・団体を支援したい	文化芸術に関わる活動をしたいと思わない	その他	無回答
全 体		2326	229	136	1107	186	381	66	221
性別	男	986	98	55	431	96	193	29	84
	女	1300	128	77	663	89	181	35	127
	無回答	40	3	4	13	1	7	2	10
年代	20～29 歳	165	26	10	76	17	32	0	4
	30～39 歳	338	42	21	169	34	53	9	10
	40～49 歳	390	36	22	223	27	60	11	11
	50～59 歳	405	42	21	220	25	59	15	23
	60～69 歳	510	40	27	234	45	93	12	59
	70 歳以上	500	41	33	178	38	82	19	109
	無回答	18	2	2	7	0	2	0	5
地区	河北	736	69	50	347	64	110	23	73
	河南	331	34	17	164	33	48	11	24
	盛南	299	23	20	149	19	52	8	28
	厨川	503	54	24	241	35	87	13	49
	都南	389	42	22	175	31	74	9	36
	玉山	68	7	3	31	4	10	2	11
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

問 15 盛岡市での文化芸術振興のために必要なことはどのようなことだと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

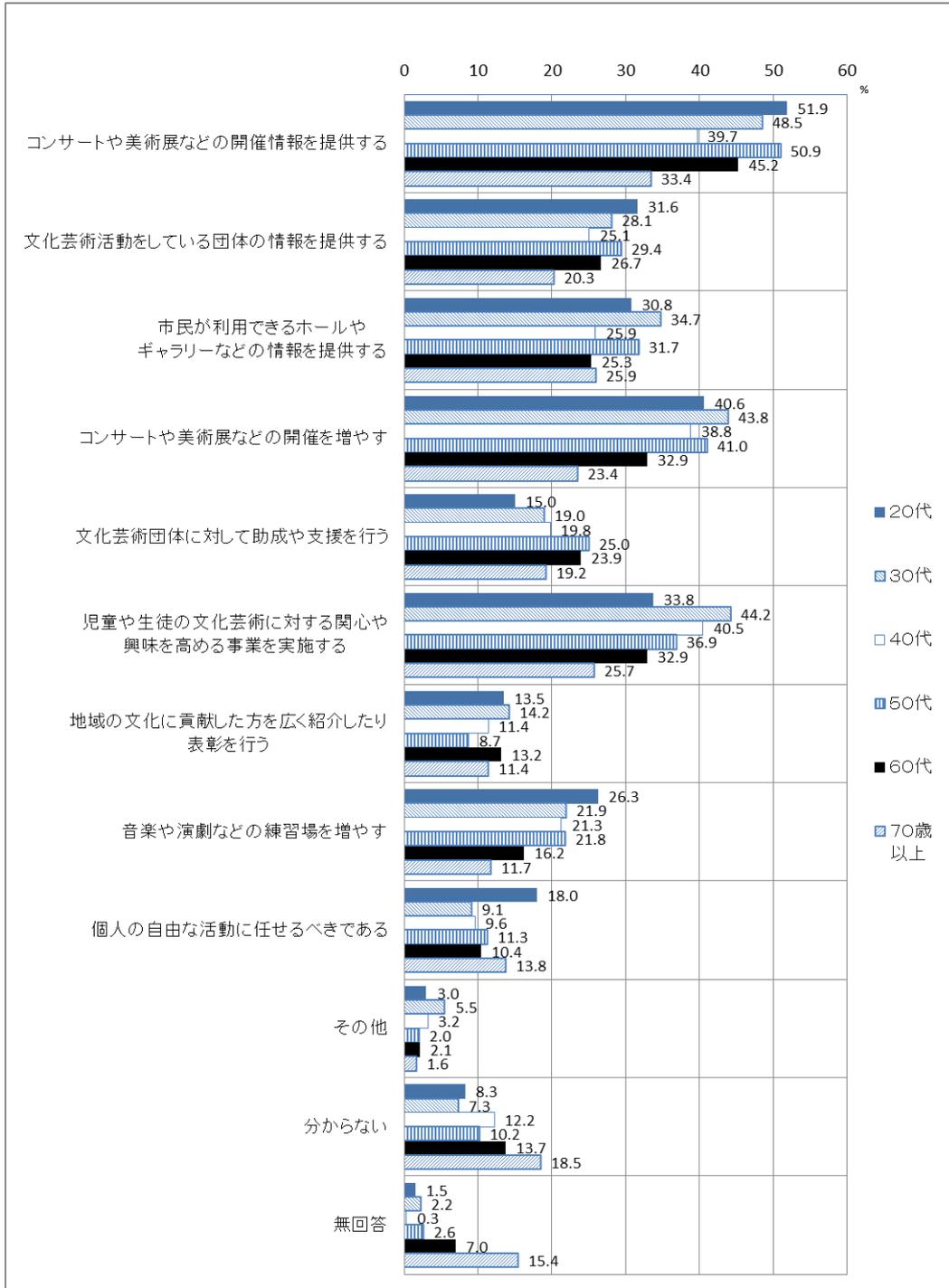
- 1 コンサートや美術展などの開催情報を提供する
- 2 文化芸術活動をしている団体の情報を提供する
- 3 市民が利用できるホールやギャラリーなどの情報を提供する
- 4 コンサートや美術展などの開催を増やす
- 5 文化芸術団体に対して助成や支援を行う
- 6 児童や生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する
- 7 地域の文化に貢献した方を広く紹介したり表彰を行う
- 8 音楽や演劇などの練習場を増やす
- 9 個人の自由な活動に任せるべきである
- 10 その他 ()
- 11 分からない

【全体】



「コンサートや美術展などの開催情報を提供する」の割合が43.6%と最も高く、次いで「コンサートや美術展などの開催を増やす」の割合が35.2%と続いた。このことから、情報提供の方法を検討していく必要がある。

【年代別】



「児童や生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」の割合については、他の年代と比べて30代、40代が高く、子育て世代の関心が高い項目と考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・金銭的助成（入場料，施設利用料，駐車料金など）
- ・文化芸術に適した施設の建設
- ・芸術ストリートのような街並みを作る

【性別、年代別、地区別の回答数】

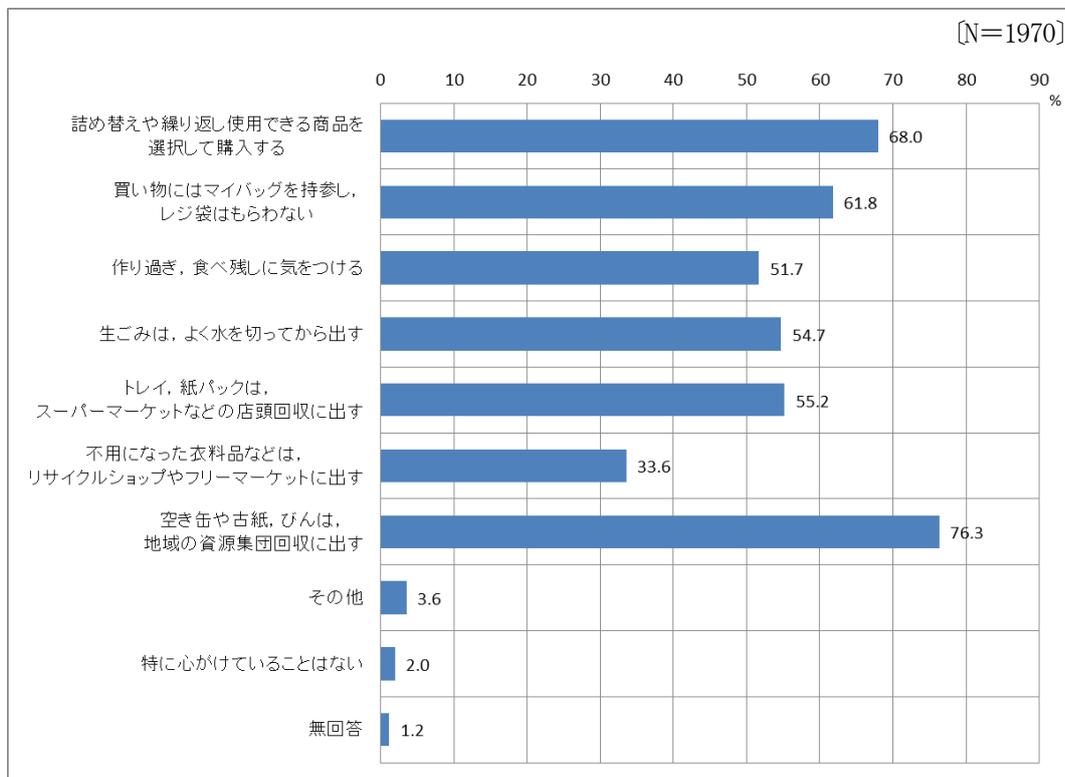
		実数	コンサートや美術展などの開催情報を提供する	文化芸術活動をしている団体の情報を提供する	市民が利用できるホールやギャラリーなどの情報を提供する	コンサートや美術展などの開催を増やす	文化芸術団体に対して助成や支援を行う	児童や生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する	地域の文化に貢献した方を広く紹介したり表彰を行う	音楽や演劇などの練習場を増やす	個人の自由な活動に任せるべきである	その他	分からない	無回答
全 体		4879	858	514	559	694	413	690	234	365	225	53	250	115
性別	男	2029	331	198	225	279	183	284	121	156	118	22	105	45
	女	2779	517	308	327	407	225	396	108	205	102	31	137	66
	無回答	71	10	8	7	8	5	10	5	4	5	0	8	4
年代	20～29歳	355	69	42	41	54	20	45	18	35	24	4	11	2
	30～39歳	744	133	77	95	120	52	121	39	60	25	15	20	6
	40～49歳	828	136	86	89	133	68	139	39	73	33	11	42	1
	50～59歳	926	175	101	109	141	86	127	30	75	39	7	35	9
	60～69歳	1065	195	115	109	142	103	142	57	70	45	9	59	30
	70歳以上	922	143	87	111	100	82	110	49	50	59	7	79	66
	無回答	39	7	6	5	4	2	6	2	2	0	0	4	1
地区	河北	1554	271	168	173	215	139	212	70	123	77	13	84	32
	河南	706	128	78	94	109	55	97	33	53	31	10	29	17
	盛南	603	113	56	64	97	49	86	28	44	24	6	30	16
	厨川	1022	185	105	114	137	92	147	53	67	50	7	53	28
	都南	849	140	91	98	121	67	125	41	71	35	14	45	15
	玉山	145	21	16	16	15	11	23	9	7	8	3	9	7
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《テーマ4 ごみの減量とリサイクルの推進について》

問16 あなたは、ごみの減量やリサイクルを図るため、日頃、どのようなことを心がけていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

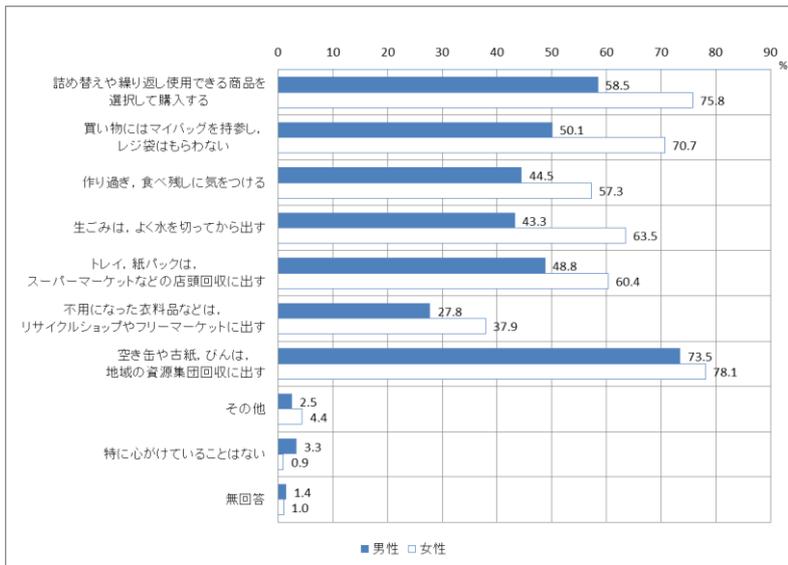
- 1 詰め替えや繰り返し使用できる商品を選択して購入する
- 2 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋はもらわない
- 3 作り過ぎ、食べ残しに気をつける
- 4 生ごみは、よく水を切ってから出す
- 5 トレイ、紙パックは、スーパーマーケットなどの店頭回収に出す
- 6 不用になった衣料品などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出す
- 7 空き缶や古紙、びんは、地域の資源集団回収に出す
- 8 その他（)
- 9 特に心がけていることはない

【全体】



ほとんどの項目で 50%を超えており、どれも関心が高いと言える。特に、「空き缶や古紙、びんは、地域の資源集団回収に出す」の割合が 76.3%と最も高い。回収量は年々減少している傾向にあるが、減量やリサイクルの手段として最も認識されていることから、今後も活動を支援していく必要がある。

一方、「不用になった衣料品などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出す」の割合は 33.6%で最も低かった。現在、市でも活用について啓発を行っているが、今後、より効果的に実施していく必要がある。



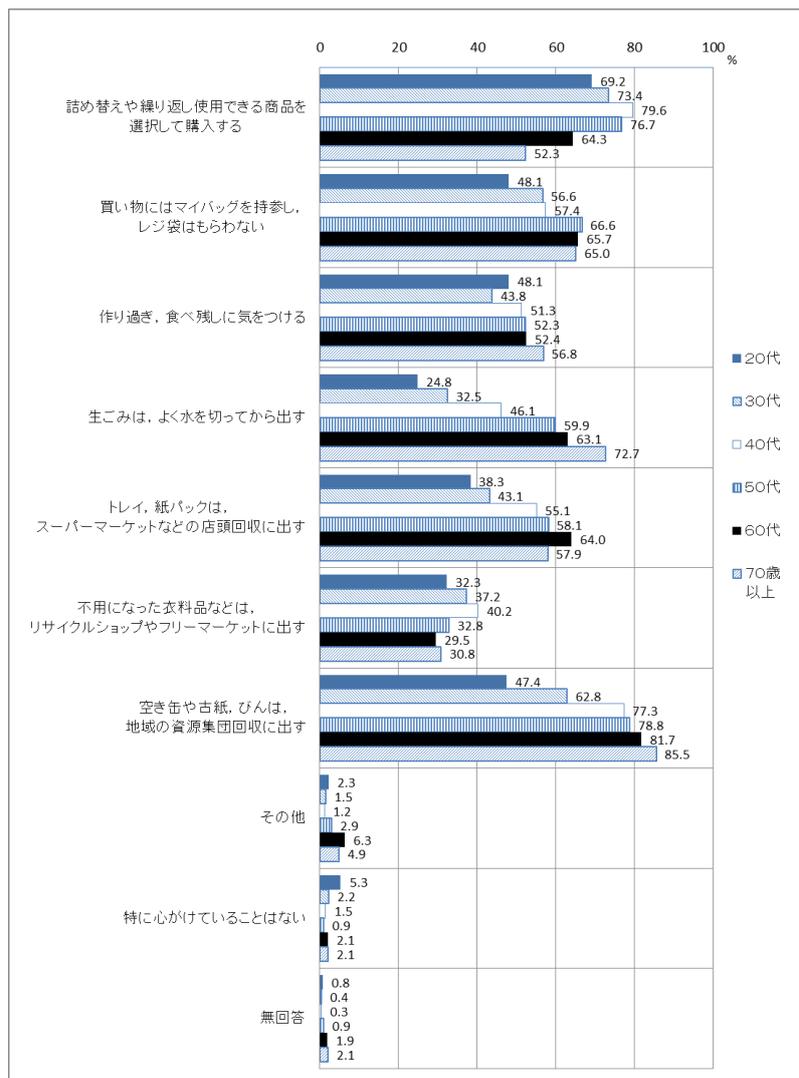
【性別】

ほとんどの項目で、女性が男性より10から20ポイント程度高かった。これは、女性の方が家事をする機会が多いことから、男性より高くなったものと考えられる。このことから、女性に対しては家事に結びつけた啓発が効果的であると思われる。

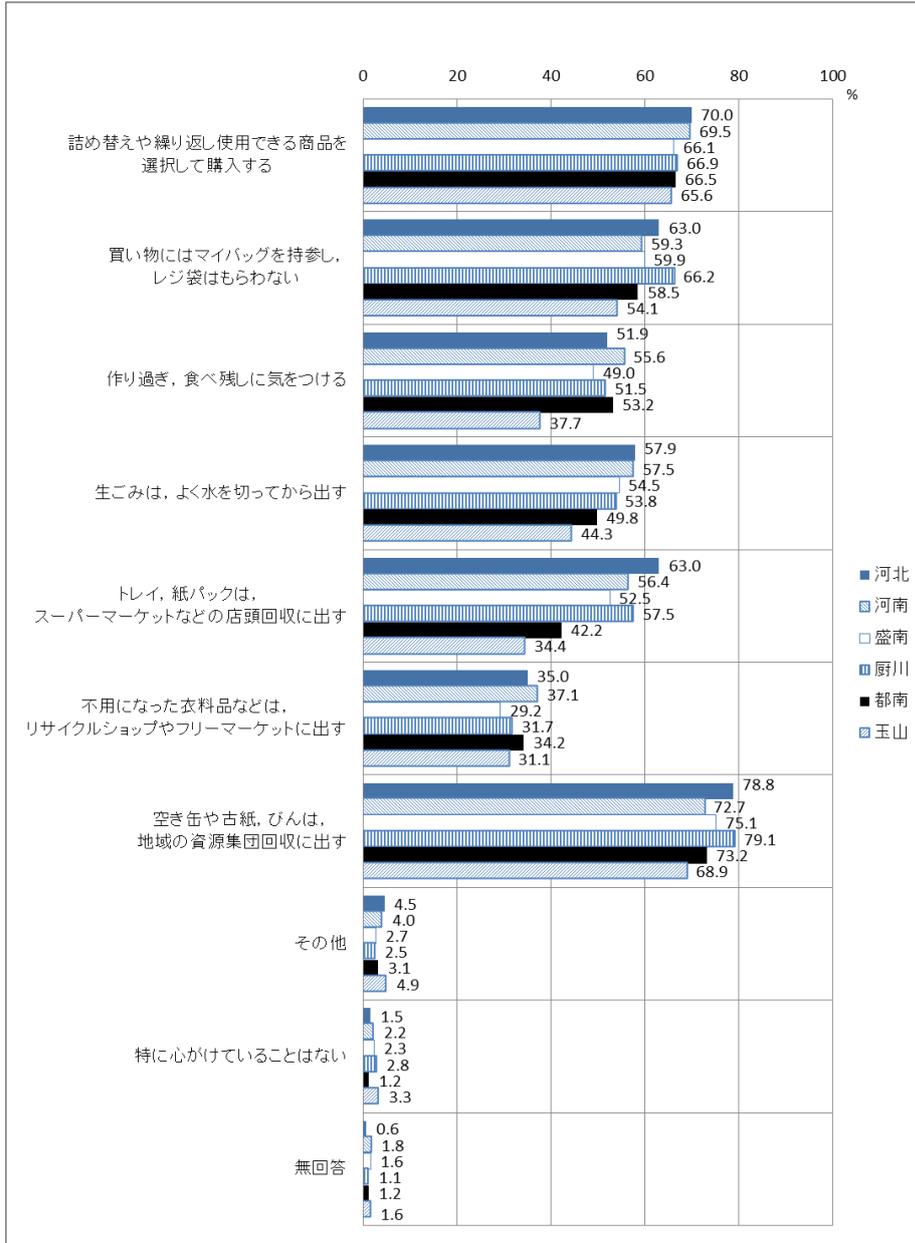
また、資源集団回収は男女差が少ないことから、子供を含んだ家族全体での取組として啓発するのが望ましいと思われる。

【年代別】

「生ごみは、よく水を切ってから出す」や、「トレイ、紙パックは、スーパーマーケットなどの店頭回収に出す」、「空き缶や古紙、びんは、地域の資源集団回収に出す」の割合について、20代から30代が他の年代より低くなっている。特に、生ごみの水切りは市のごみ減量の施策の中で重要な位置付けにあることから、今後、これらの年代を対象とした啓発を検討する必要がある。



【地区別】



「トレイ、紙パックは、スーパーマーケットなどの店頭回収に出す」の割合が都南地区と玉山地区で低い。これは、紙パックやトレーなどを行政が分別回収しており、盛岡地域のように店頭回収の活用を積極的に活用していないためと思われる。

※ 盛岡市のごみ処理区域は盛岡地域、都南地域及び玉山区の3区域に分かれており、処理施設の違うなどから収集する品目が異なります。

※ 「その他」に記載された主なもの

- ・生ごみはコンポスト等を利用して自宅で処理している
- ・ごみを出さないように買い過ぎない
- ・不要になったものは親戚や知人にあげている

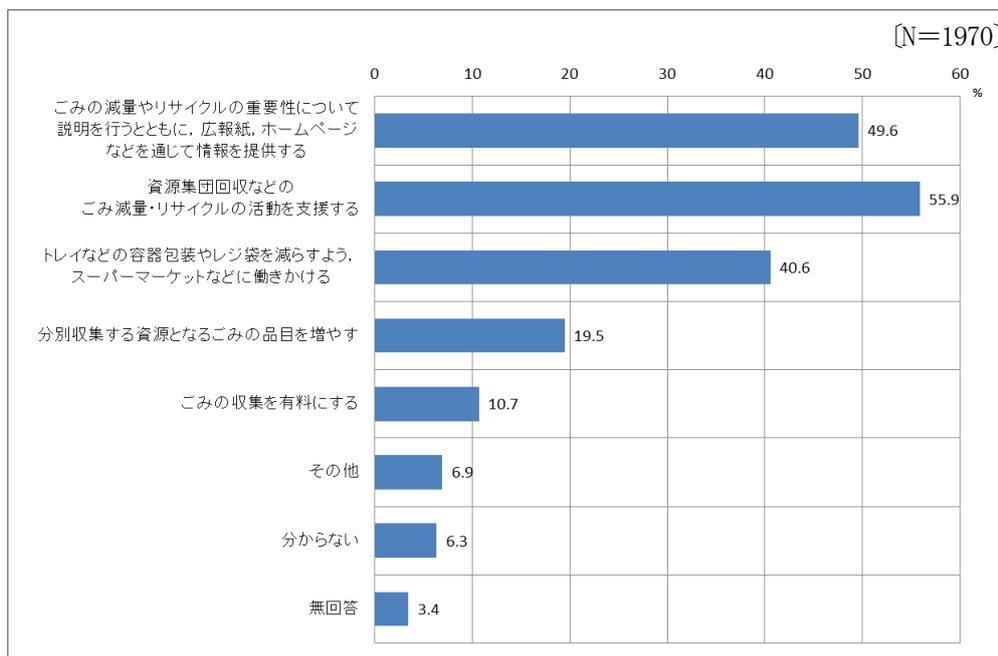
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	詰め替えや繰り返し使用できる商品を選択して購入する	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋はもらわない	作り過ぎ、食べ残しに気をつける	生ごみは、よく水を切ってから出す	店頭回収に出す	トレイ、紙パックは、スーパーマーケットなどのフリーマーケットに出す	不用になった衣料品などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出す	空き缶や古紙、びんは、地域の資源集団回収に出す	その他	特に心がけていることはない	無回答
全 体		8037	1340	1217	1019	1078	1087	661	1503	70	39	23	
性別	男	2974	492	421	374	364	410	234	618	21	28	12	
	女	4919	829	773	626	694	660	414	854	48	10	11	
	無回答	144	19	23	19	20	17	13	31	1	1	0	
年代	20～29 歳	421	92	64	64	33	51	43	63	3	7	1	
	30～39 歳	968	201	155	120	89	118	102	172	4	6	1	
	40～49 歳	1406	273	197	176	158	189	138	265	4	5	1	
	50～59 歳	1479	264	229	180	206	200	113	271	10	3	3	
	60～69 歳	1857	277	283	226	272	276	127	352	27	9	8	
	70 歳以上	1841	224	278	243	311	248	132	366	21	9	9	
	無回答	65	9	11	10	9	5	6	14	1	0	0	
地区	河北	2630	432	389	320	357	389	216	486	28	9	4	
	河南	1144	191	163	153	158	155	102	200	11	6	5	
	盛南	1010	170	154	126	140	135	75	193	7	6	4	
	厨川	1797	291	288	224	234	250	138	344	11	12	5	
	都南	1245	216	190	173	162	137	111	238	10	4	4	
	玉山	211	40	33	23	27	21	19	42	3	2	1	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

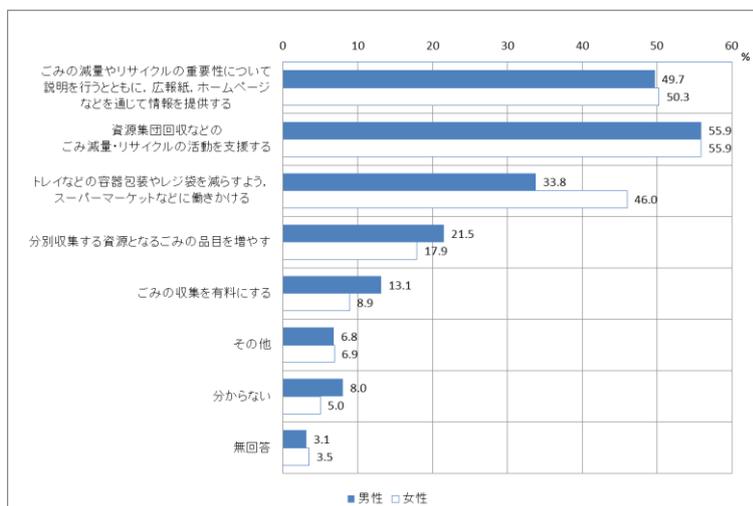
問 17 ごみの減量やリサイクルをより一層進めるためには、行政のどのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものから3つまで○を付けてください。

- 1 ごみの減量やリサイクルの重要性について説明を行うとともに、広報紙、ホームページなどを通じて情報を提供する
- 2 資源集団回収などのごみ減量・リサイクルの活動を支援する
- 3 トレイなどの容器包装やレジ袋を減らすよう、スーパーマーケットなどに働きかける
- 4 分別収集する資源となるごみの品目を増やす
- 5 ごみの収集を有料にする
- 6 その他 ()
- 7 分からない

【全体】



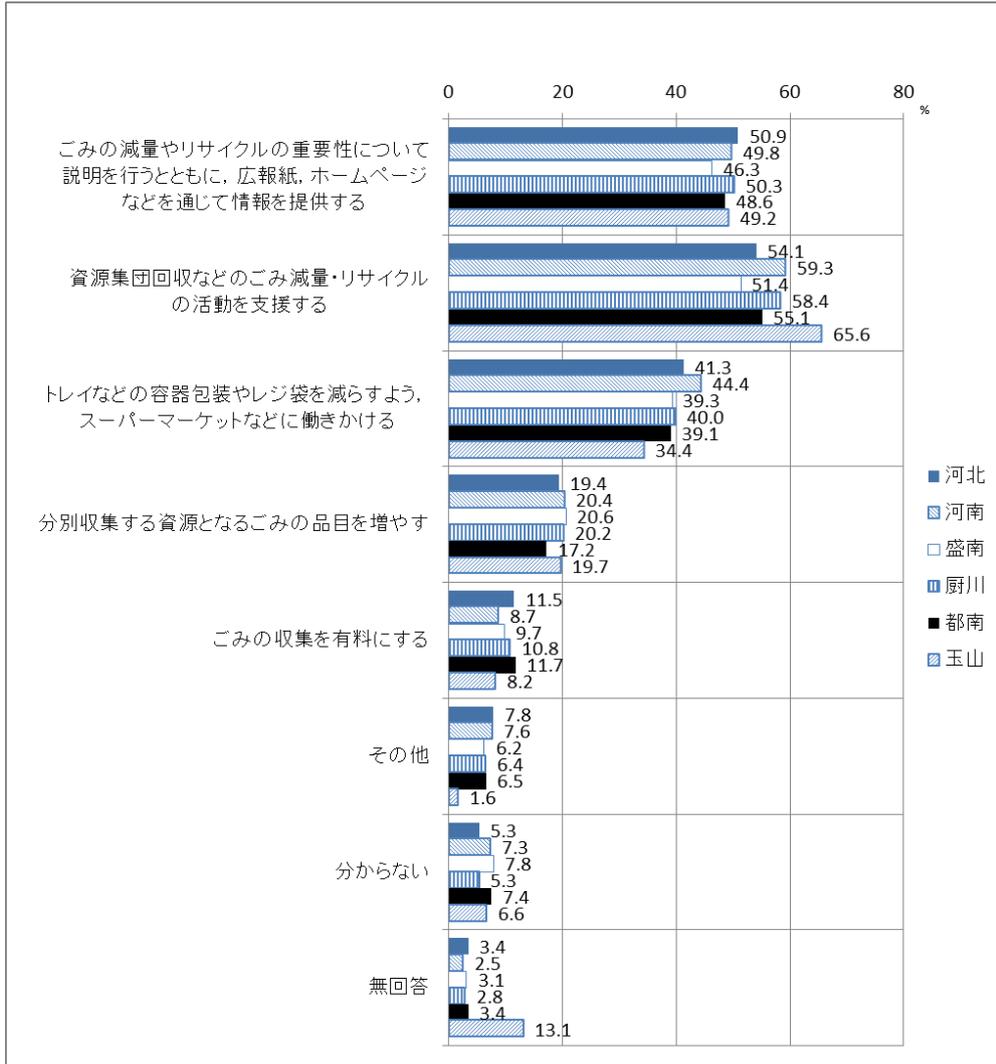
「資源集団回収などのごみ減量・リサイクルの活動を支援する」の割合が過半数となっているのに対し、「分別収集する資源となるごみの品目を増やす」の割合が低く、行政回収よりもほかの活動による回収の活性化が望まれていることが伺われる。



【性別】

男性は「分別収集する資源となるごみの品目を増やす」や「ごみの収集を有料にする」などの行政の制度の変更を求める傾向があるのに対し、女性は「トレイなどの容器包装やレジ袋を減らすよう、スーパーマーケットなどに働きかける」の割合が高かったことから、それぞれを重視して施策を実施する必要がある。

【地区別】



玉山地区では「資源集団回収などのごみ減量・リサイクルの活動を支援する」の割合が高いが、近年の回収量が減少していたことから、活動の強化の必要性が住民の中でも感じられているものと思われる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・収集日の増加
- ・集積所の整備や収集場所（回収ボックスなど）の増加
- ・ごみの減量やリサイクルに応じたポイント制や特典の活用
- ・分別収集の品目を減らす

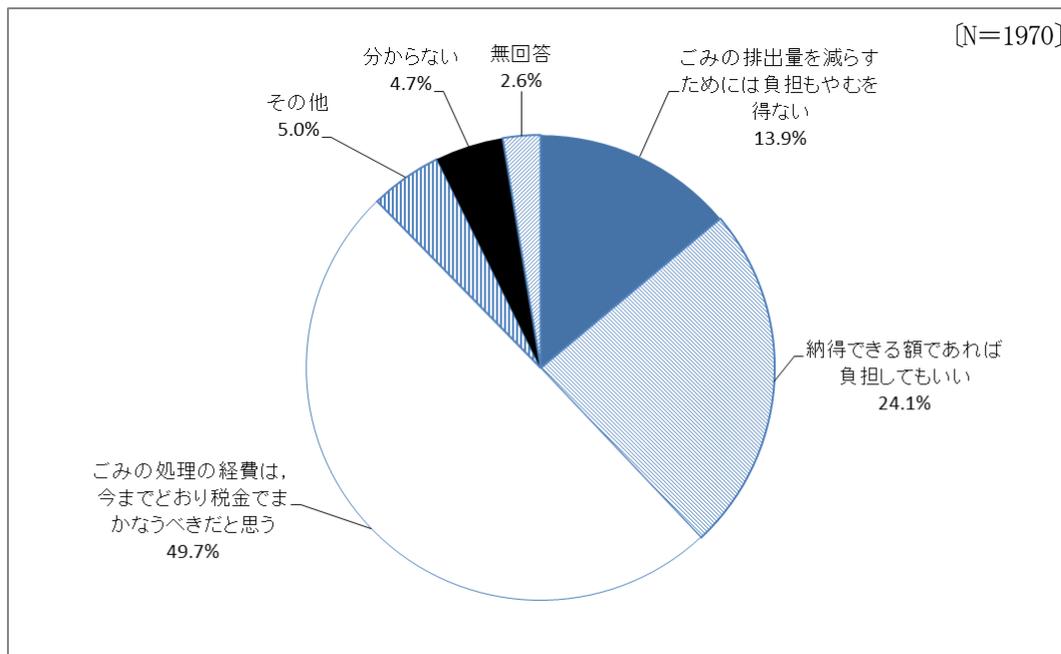
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	ごみの減量やリサイクルの重要性について説明を行うとともに、 広報紙、ホームページなどを通じて情報を提供する	資源集団回収などのごみ減量・リサイクルの活動を支援する	トレイなどの容器包装やレジ袋を減らすよう、 スーパーマーケットなどに働きかける	分別収集する資源となるごみの品目を増やす	ごみの収集を有料にする	その他	分からない	無回答
全 体		3800	977	1102	800	385	210	135	124	67
性別	男	1613	418	470	284	181	110	57	67	26
	女	2125	550	611	503	196	97	75	55	38
	無回答	62	9	21	13	8	3	3	2	3
年代	20～29歳	236	64	71	36	20	17	17	10	1
	30～39歳	480	125	142	95	46	27	24	17	4
	40～49歳	639	157	196	135	57	38	30	19	7
	50～59歳	666	177	191	143	66	34	28	18	9
	60～69歳	885	233	248	194	102	52	17	21	18
	70歳以上	869	219	246	192	91	41	17	38	25
	無回答	25	2	8	5	3	1	2	1	3
地区	河北	1196	314	334	255	120	71	48	33	21
	河南	550	137	163	122	56	24	21	20	7
	盛南	474	119	132	101	53	25	16	20	8
	厨川	845	219	254	174	88	47	28	23	12
	都南	614	158	179	127	56	38	21	24	11
	玉山	121	30	40	21	12	5	1	4	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問18 家庭ごみの減量のためには、ごみの処理を有料化することが有効と言われていますが、あなたは、ごみの処理を有料化することについてどう思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 ごみの排出量を減らすためには負担もやむを得ない
- 2 納得できる額であれば負担してもいい
- 3 ごみの処理の経費は、今までどおり税金でまかなうべきだと思う
- 4 その他 ()
- 5 分からない

【全体】



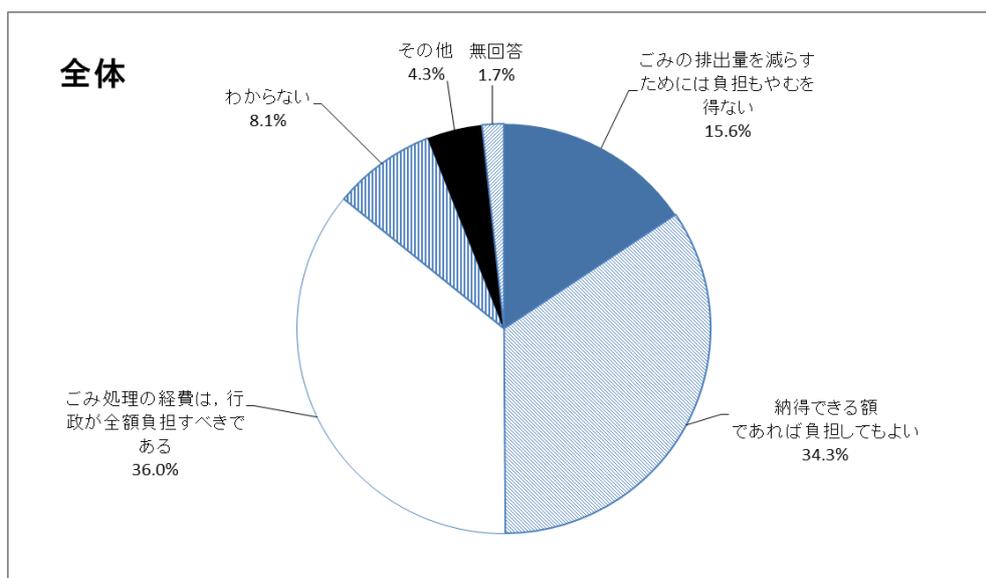
平成19年度の調査より「納得できる額であれば負担してもいい」の割合が0.70倍と減少したのに対し、「ごみの処理の経費は、今までどおり税金でまかなうべきだと思う」の割合は1.38倍に増加しており、有料化に対する抵抗感が高くなったものと思われる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・不法投棄やごみ焼きが増えると思う
- ・指定ごみ袋の有料化であれば負担もやむを得ない
- ・低所得者等の負担を配慮すべき
- ・リサイクルに応じたポイント制や特典を活用すべき
- ・企業に容器包装の改善を働きかけるべき

【参考】

平成19年度市民意識調査の同設問の結果



【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	負担もやむを得ない ごみの排出量を減らすためには	いい 納付できる額であれば負担しても	ごみの処理の経費は、今までどおり 税金でまかなうべきだと思う	その他	分からない	無回答
全 体		1970	273	474	979	99	93	52
性別	男	841	136	213	386	47	37	22
	女	1093	131	254	577	51	54	26
	無回答	36	6	7	16	1	2	4
年代	20～29 歳	133	11	39	65	11	6	1
	30～39 歳	274	36	68	143	16	10	1
	40～49 歳	343	46	97	153	21	21	5
	50～59 歳	344	46	86	174	19	15	4
	60～69 歳	431	60	105	213	19	19	15
	70 歳以上	428	72	76	224	13	21	22
	無回答	17	2	3	7	0	1	4
地区	河北	617	103	143	303	31	24	13
	河南	275	39	67	133	16	14	6
	盛南	257	23	63	147	4	11	9
	厨川	435	49	120	207	22	24	13
	都南	325	53	68	163	21	14	6
	玉山	61	6	13	26	5	6	5
	無回答	0	0	0	0	0	0	0

問 19 ごみの減量や処理方法について、日頃あなたが考えていることがあれば、お聞かせください。

記載された主なもの

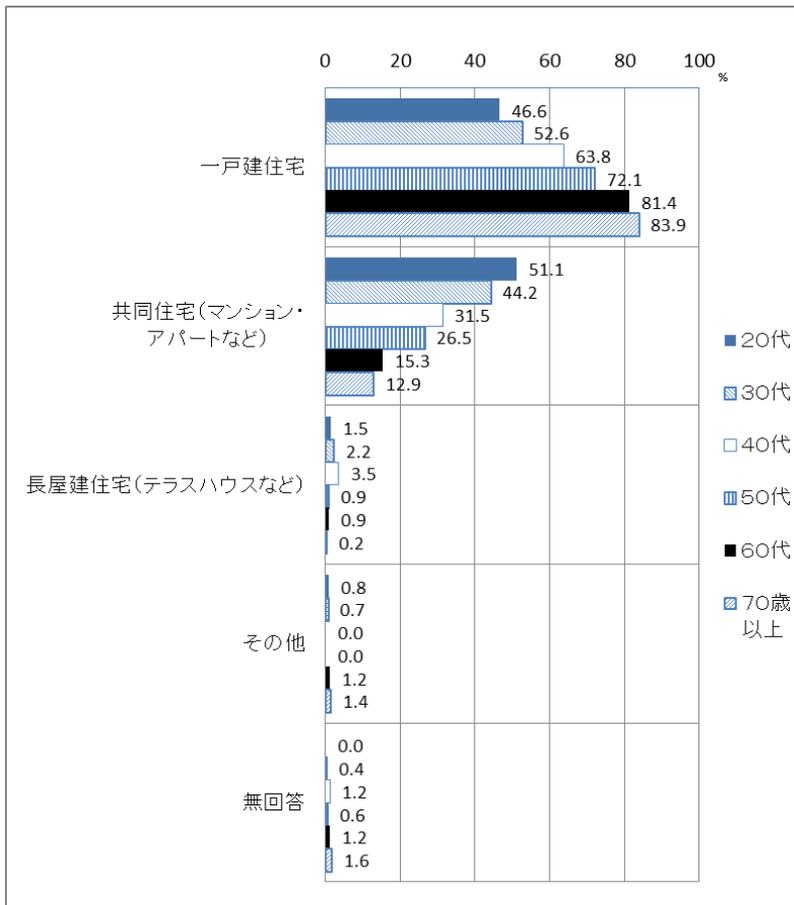
○ごみの処理の有料化についての意見	
・有料化賛成	32 件
・有料化すると不法投棄が増える	12 件
・有料化は方式の検討や条件が必要である	10 件
・有料化反対	19 件
○分別収集についての意見	
・分別や収集の方法を見直すべき	31 件
・回収日数や回数を増やすべき	8 件
・分別品目が多い、細かい	12 件
・分別品目が少ない、分別が甘い	8 件
・高齢者には分別やごみ出しが難しい	14 件
・市も民間と同様にポイント制や特典を活用すべき	10 件
○啓発についての意見	
・分別などのルールを守らない者や違反ごみについて	34 件
・学生や若者などに対する教育の必要性	16 件
・アパート住人の意識の低さ	13 件
・各個人が分別や減量の意識を高める必要がある	23 件
・分別についての啓発の充実	23 件
・適正処理や減量・資源化についての情報提供の充実	19 件
・民間事業者に対する行政の働きかけの必要性	56 件
○集積場所についての意見	
・集積場所におけるカラス対策や清潔の保持の必要性について	15 件
・常設の集積場所の要望について	12 件
・小屋型や金網の必要性について	7 件
○生ゴミについての意見	
・生ごみは自家処理している	13 件
・自宅でのコンポスト処理等を推進すべき	12 件
・分別収集や資源化の推進	11 件
○包装についての意見	
・過剰包装について	75 件
・レジ袋の有料化について	6 件
・詰め替え商品について	4 件
○その他の意見	
・自分が意識していることについて	65 件
・施設の有効利用や利便化について	11 件
・ごみ袋について	9 件

【考察】

分別を守らない者についての意見のほか、過剰包装などの民間の取組に対する意見が目立つ結果となった。

アパートや学生などに対する周知啓発は現在も実施しているが、今後重視していくべき事項として位置付けることについて検討する必要があるものと思われる。

民間への取組は、製造事業者に対しては国全体での取組を実施していることから、市としては国の取組に基づく市域内の販売事業者への啓発を今後も実施していく必要があると思われる。

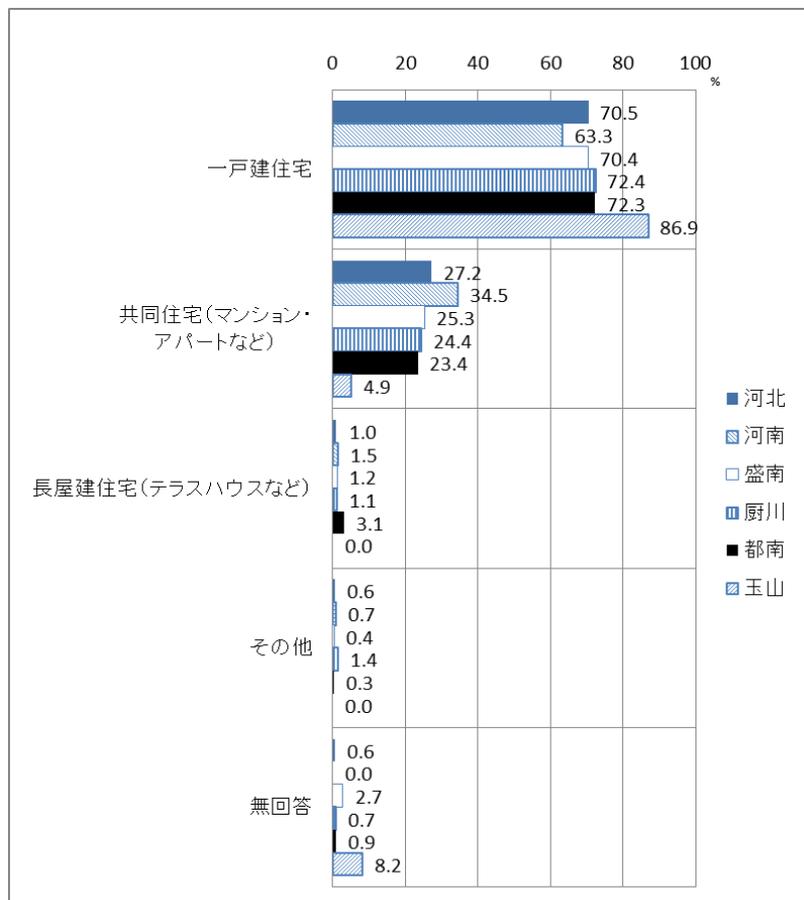


【年代別】

年齢が高くなるほど「一戸建住宅」の割合は高く、「共同住宅(マンション・アパートなど)」の割合は低くなっている。30代以上では「一戸建住宅」の割合が最も高くなっているが、20代では「一戸建住宅」よりも「共同住宅(マンション・アパートなど)」の割合の方が高い。このことから、低年代の居住推進などを想定した場合は、「共同住宅(マンション・アパートなど)」での居住や共同住宅から一戸建て住宅への住み替えなどを重視することも考えられる。

【地区別】

河南地区は「共同住宅(マンション・アパートなど)」の割合が34.5%と他の地区より高く、玉山地区は「一戸建住宅」の割合が86.9%と他の地区より高い。このことから、地区別施策などを考える場合は、この特徴を踏まえる必要がある。



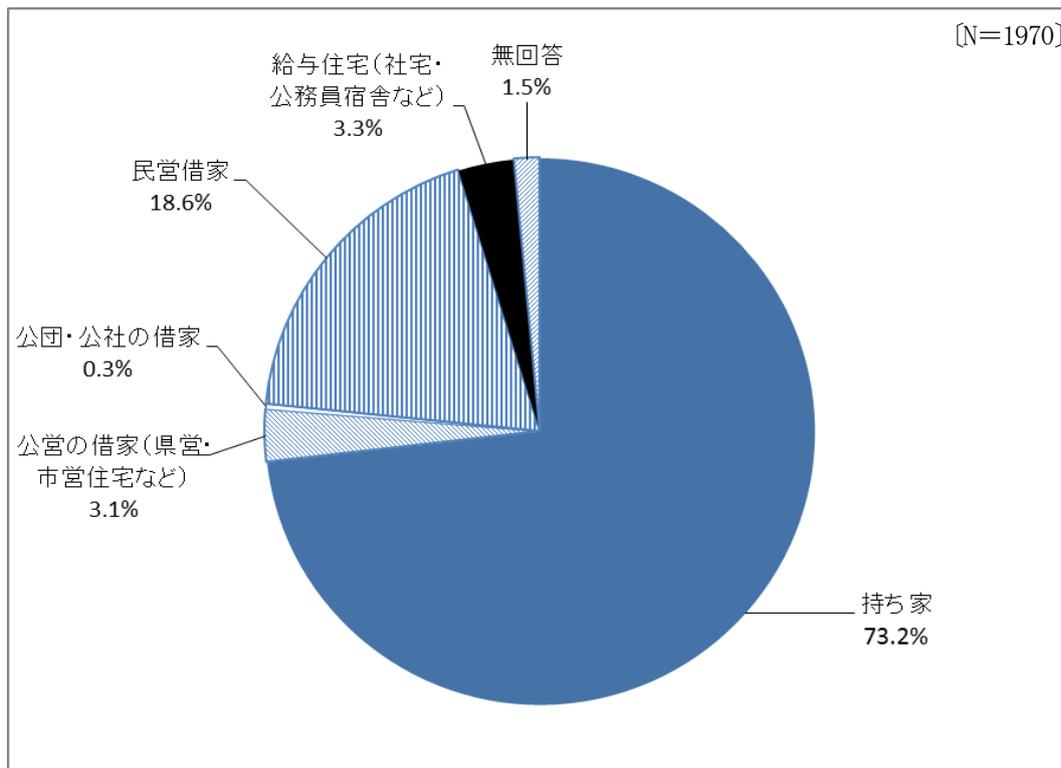
【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	一戸 建住宅	共同住宅 (マンション・ アパートなど)	長屋 建住宅 (テラスハウス など)	その他	無 回 答
全 体		1970	273	474	979	99	52
性別	男	841	136	213	386	47	22
	女	1093	131	254	577	51	26
	無回答	36	6	7	16	1	4
年代	20～29 歳	133	11	39	65	11	1
	30～39 歳	274	36	68	143	16	1
	40～49 歳	343	46	97	153	21	5
	50～59 歳	344	46	86	174	19	4
	60～69 歳	431	60	105	213	19	15
	70 歳以上	428	72	76	224	13	22
	無回答	17	2	3	7	0	4
地区	河北	617	103	143	303	31	13
	河南	275	39	67	133	16	6
	盛南	257	23	63	147	4	9
	厨川	435	49	120	207	22	13
	都南	325	53	68	163	21	6
	玉山	61	6	13	26	5	5
	無回答	0	0	0	0	0	0

問 21 現在お住まいの住宅はどのような所有関係になっていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

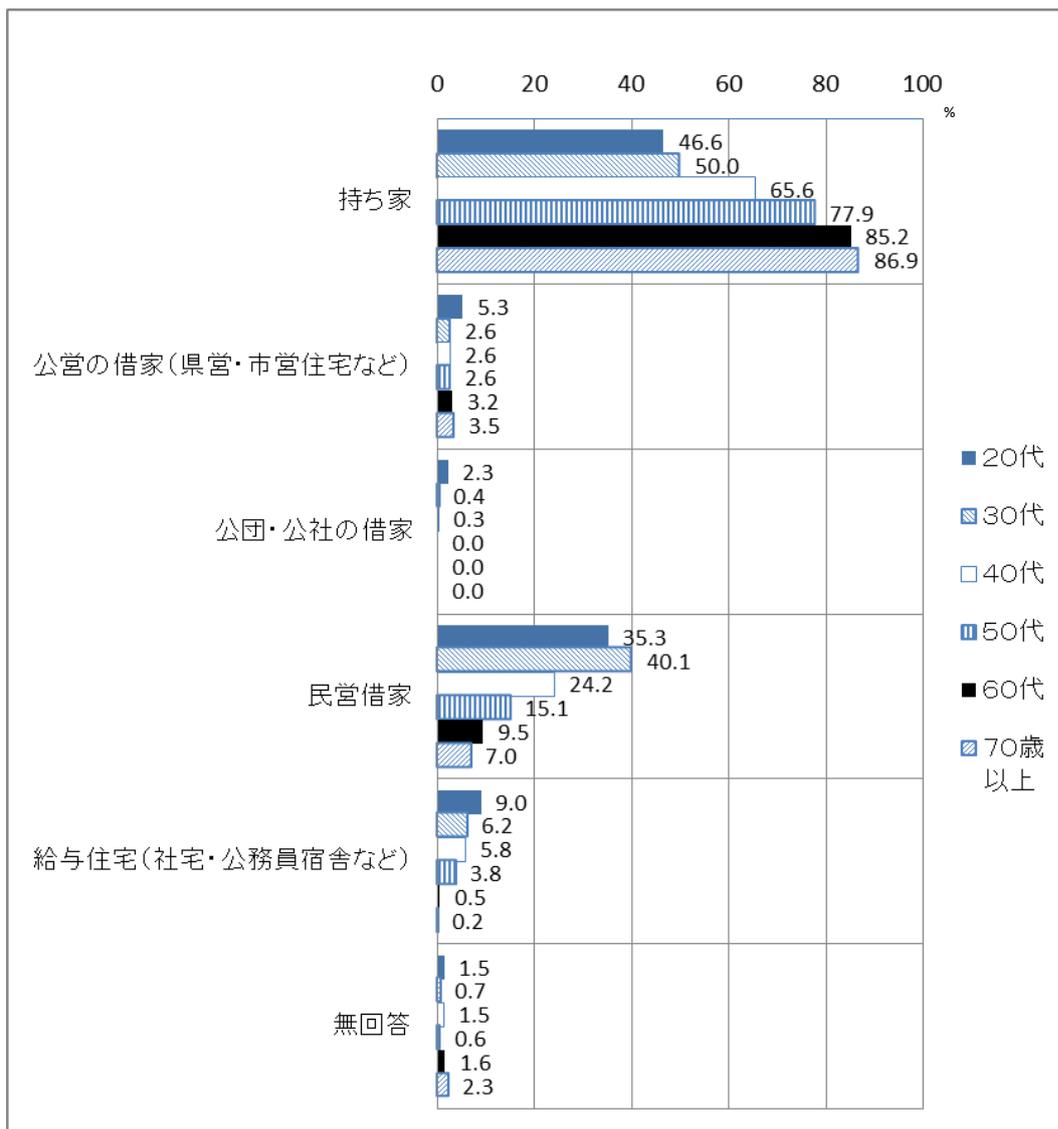
- 1 持ち家
- 2 公営の借家（県営・市営住宅など）
- 3 公団・公社の借家
- 4 民営借家
- 5 給与住宅（社宅・公務員宿舎など）

【全体】



「持ち家」の割合が73.2%と最も高く、次いで「民営借家」の割合が18.6%、「給与住宅（社宅・公務員宿舎など）」の割合が3.3%と続いた。「持ち家」と「民営借家」を合わせると全体の91.8%を占める結果となった。

【年代別】



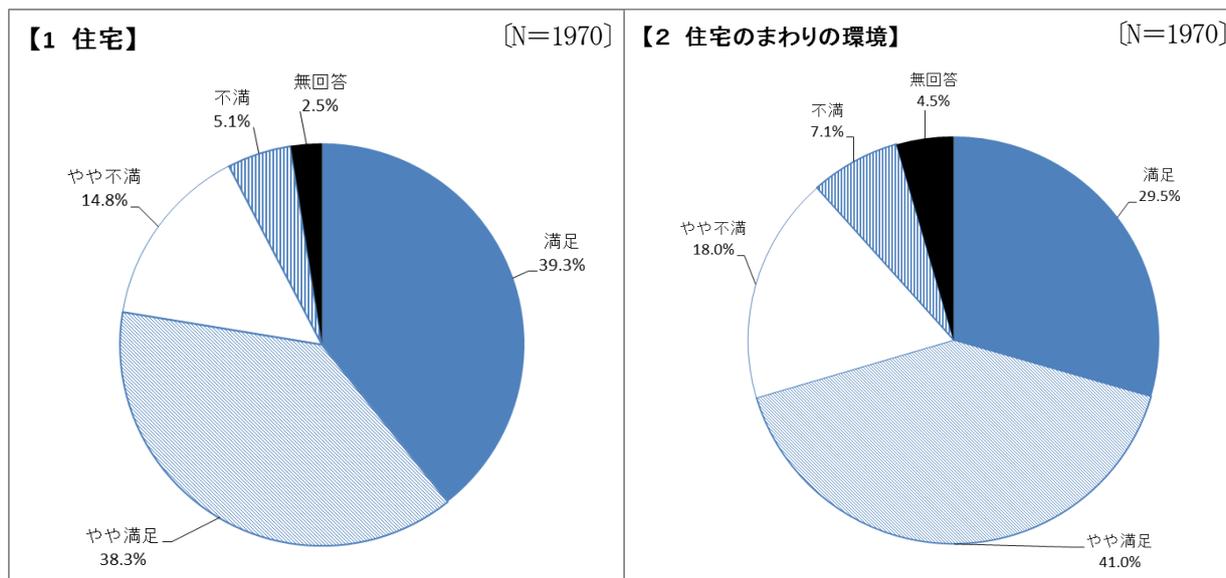
年齢が高くなるほど「持ち家」の割合が高くなっている。逆に「民営借家」の割合は、年齢が高くなるほど割合が低くなっているが、最も割合が高いのは30代である。低い年代の居住推進などを想定した場合は、民営借家での居住や、民営借家に居住する世帯の持ち家取得などを重視することも考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	持ち家	公営の借家 (県営・市営住宅など)	公団・公社の借家	民営借家	給与住宅 (社宅・公務員宿舎など)	無回答
全 体		1970	1442	61	5	367	65	30
性別	男	841	618	20	1	155	32	15
	女	1093	795	41	4	208	33	12
	無回答	36	29	0	0	4	0	3
年代	20～29 歳	133	62	7	3	47	12	2
	30～39 歳	274	137	7	1	110	17	2
	40～49 歳	343	225	9	1	83	20	5
	50～59 歳	344	268	9	0	52	13	2
	60～69 歳	431	367	14	0	41	2	7
	70 歳以上	428	372	15	0	30	1	10
	無回答	17	11	0	0	4	0	2
地区	河北	617	480	12	2	100	15	8
	河南	275	197	4	0	61	10	3
	盛南	257	176	6	0	53	16	6
	厨川	435	311	26	1	74	18	5
	都南	325	226	13	2	77	4	3
	玉山	61	52	0	0	2	2	5
	無回答	0	0	0	0	0	0	0

問 22 現在お住まいの住宅や住宅のまわりの環境について満足していますか。当てはまるものに○を付けてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
1 住宅	1	2	3	4
2 住宅のまわりの環境	1	2	3	4



【1 住宅】

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は77.6%で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の19.9%を大きく上回っている。

【2 住宅のまわりの環境】

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は70.5%で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の25.1%を大きく上回っている。

【性別、年代別、地区別の回答数（1 住宅）】

		実数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体		1970	775	754	292	100	49
性別	男	841	339	318	118	47	19
	女	1093	422	422	170	52	27
	無回答	36	14	14	4	1	3
年代	20～29歳	133	58	49	22	3	1
	30～39歳	274	100	102	48	19	5
	40～49歳	343	127	131	61	19	5
	50～59歳	344	129	132	60	19	4
	60～69歳	431	167	167	64	22	11
	70歳以上	428	190	165	35	17	21
	無回答	17	4	8	2	1	2
地区	河北	617	251	262	81	15	8
	河南	275	105	103	46	17	4
	盛南	257	107	84	41	15	10
	厨川	435	167	162	62	35	9
	都南	325	122	123	52	17	11
	玉山	61	23	20	10	1	7
	無回答	0	0	0	0	0	0

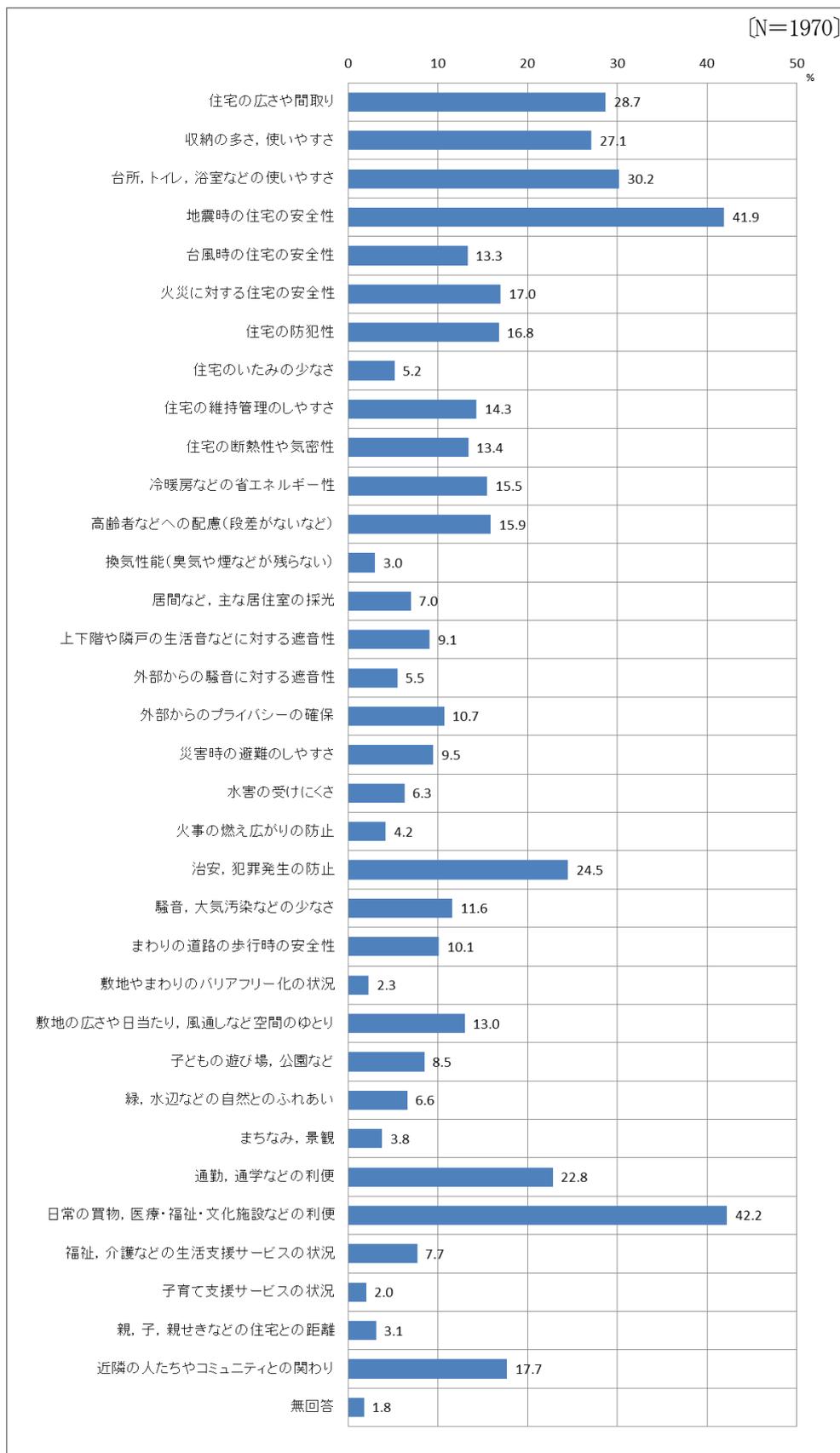
【性別、年代別、地区別の回答数（2 住宅のまわりの環境）】

		実数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全 体		1970	581	807	354	139	89
性別	男	840	239	336	147	62	37
	女	1093	323	446	190	69	44
	無回答	36	12	8	8	3	4
年代	20～29歳	133	34	52	28	7	7
	30～39歳	274	74	126	46	16	3
	40～49歳	343	112	142	50	23	6
	50～59歳	344	95	135	75	24	10
	60～69歳	431	122	181	70	32	19
	70歳以上	428	131	149	72	31	39
	無回答	17	6	5	4	1	1
地区	河北	617	191	273	94	37	22
	河南	275	84	103	56	18	14
	盛南	257	90	95	40	20	12
	厨川	435	126	180	84	27	18
	都南	325	76	138	64	31	16
	玉山	61	14	18	16	6	7
	無回答	0	0	0	0	0	0

問 23 住宅・住環境について重要と思うものは何ですか。当てはまるものから5つまで○を付けてください。

- 1 住宅の広さや間取り
- 2 収納の多さ、使いやすさ
- 3 台所、トイレ、浴室などの使いやすさ
- 4 地震時の住宅の安全性
- 5 台風時の住宅の安全性
- 6 火災に対する住宅の安全性
- 7 住宅の防犯性
- 8 住宅のいたみの少なさ
- 9 住宅の維持管理のしやすさ
- 10 住宅の断熱性や気密性
- 11 冷暖房などの省エネルギー性
- 12 高齢者などへの配慮（段差がないなど）
- 13 換気性能（臭気や煙などが残らない）
- 14 居間など、主な居住室の採光
- 15 上下階や隣戸の生活音などに対する遮音性
- 16 外部からの騒音に対する遮音性
- 17 外部からのプライバシーの確保
- 18 災害時の避難のしやすさ
- 19 水害の受けにくさ
- 20 火事の燃え広がりの防止
- 21 治安、犯罪発生の防止
- 22 騒音、大気汚染などの少なさ
- 23 まわりの道路の歩行時の安全性
- 24 敷地やまわりのバリアフリー化の状況
- 25 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり
- 26 子どもの遊び場、公園など
- 27 緑、水辺などの自然とのふれあい
- 28 まちなみ、景観
- 29 通勤、通学などの利便
- 30 日常の買物、医療・福祉・文化施設などの利便
- 31 福祉、介護などの生活支援サービスの状況
- 32 子育て支援サービスの状況
- 33 親、子、親せきなどの住宅との距離
- 34 近隣の人たちやコミュニティとの関わり

【全体】



「日常の買物, 医療・福祉・文化施設などの利便」の割合が42.2%と最も高く、次いで「地震時の住宅の安全性」の割合が41.9%と続いており、住宅施策展開にはこれらへの対応が重要と思われる。

【性別、年代別、地区別の回答数（全体、1から11）】

*

		実数	住宅の広さや間取り	収納の多さ、使いやすさ	台所、トイレ、浴室などの使いやすさ	地震時の住宅の安全性	台風時の住宅の安全性	火災に対する住宅の安全性	住宅の防犯性	住宅のいたみの少なさ	住宅の維持管理のしやすさ	住宅の断熱性や気密性	冷暖房などの省エネルギー性
全 体		9113	566	533	594	826	262	335	331	103	281	264	306
性別	男	3876	281	207	269	337	124	167	148	47	118	141	133
	女	5082	276	319	311	478	129	162	180	53	161	119	168
	無回答	155	9	7	14	11	9	6	3	3	2	4	5
年代	20～29 歳	600	61	44	41	50	13	12	22	8	13	17	13
	30～39 歳	1297	120	113	102	106	29	30	48	19	27	44	41
	40～49 歳	1600	130	118	104	127	34	49	51	28	45	57	53
	50～59 歳	1634	98	89	101	156	50	63	62	17	69	41	63
	60～69 歳	2002	75	84	107	197	66	70	71	18	77	58	84
	70 歳以上	1902	76	81	135	184	68	107	74	11	49	46	49
	無回答	78	6	4	4	6	2	4	3	2	1	1	3
地区	河北	2876	184	162	172	256	88	115	101	26	82	86	91
	河南	1270	84	75	94	120	43	47	47	20	41	33	41
	盛南	1176	80	71	73	86	19	39	46	10	38	37	41
	厨川	2020	115	118	140	199	61	79	81	24	73	68	67
	都南	1489	92	94	97	135	38	44	46	21	39	38	53
	玉山	282	11	13	18	30	13	11	10	2	8	2	13
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【性別、年代別、地区別の回答数（12から23）】

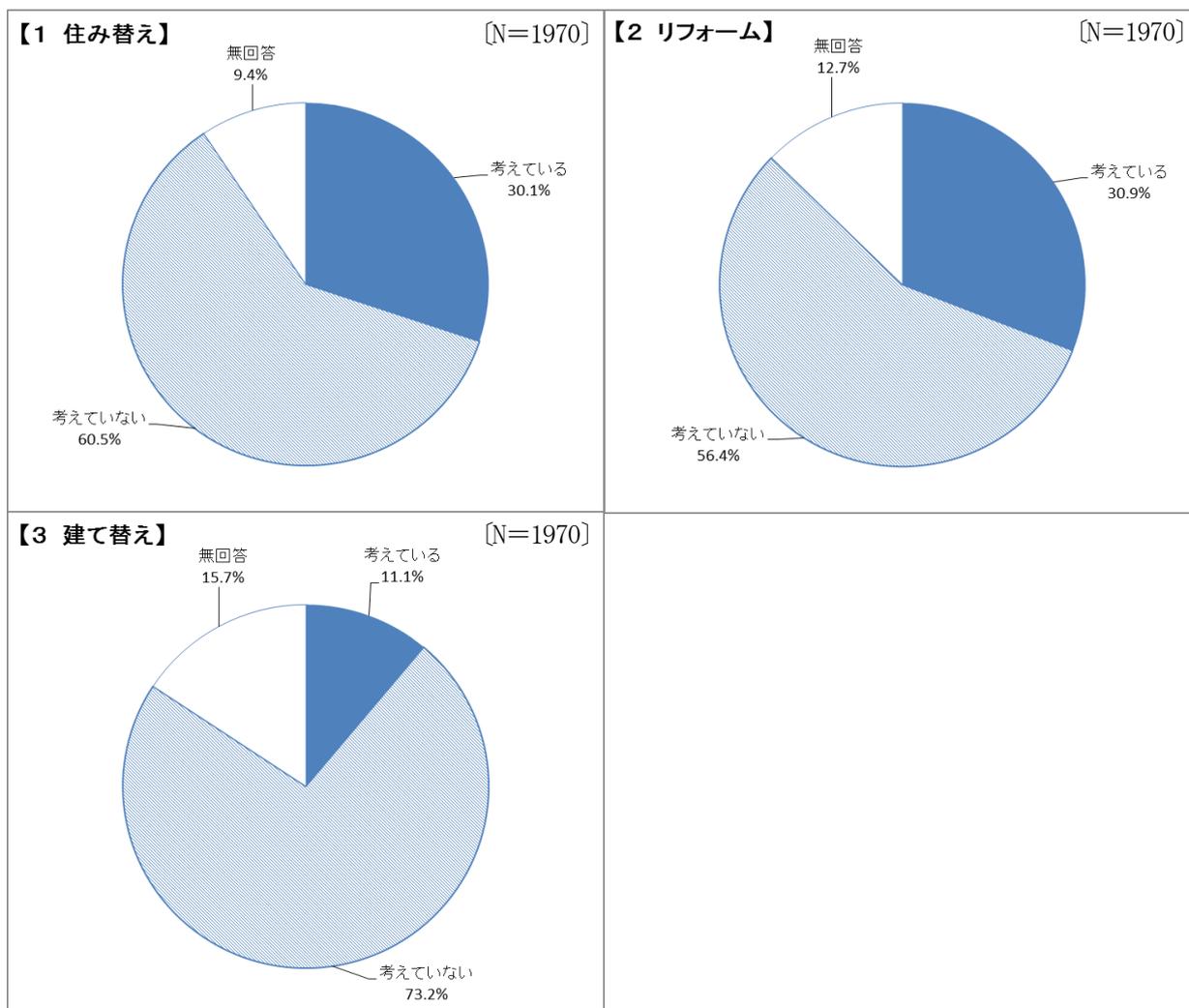
		高齢者などへの配慮（段差がないなど）	換気性能（臭気や煙などが残らない）	居間など、主な居住室の採光	上下階や隣戸の生活音などに対する遮音性	外部からの騒音に対する遮音性	外部からのプライバシーの確保	災害時の避難のしやすさ	水害の受けにくさ	火事の燃え広がり防止	治安、犯罪発生防止	騒音、大気汚染などの少なさ	まわりの道路の歩行時の安全性
全	体	313	59	137	180	109	211	187	124	82	482	228	199
性別	男	123	26	45	76	62	93	65	54	29	217	99	81
	女	180	32	87	101	44	114	118	66	50	258	127	112
	無回答	10	1	5	3	3	4	4	4	3	7	2	6
年代	20～29歳	2	3	9	27	12	35	7	5	1	32	15	11
	30～39歳	14	11	26	42	18	30	7	21	1	71	27	30
	40～49歳	22	10	23	27	18	43	21	30	13	72	50	36
	50～59歳	53	5	21	28	14	34	41	19	13	106	37	39
	60～69歳	85	15	29	25	24	41	50	27	22	122	53	40
	70歳以上	134	14	26	30	22	25	57	20	30	76	46	40
	無回答	3	1	3	1	1	3	4	2	2	3	0	3
地区	河北	107	17	37	56	26	64	53	30	24	171	74	70
	河南	40	8	20	21	14	34	26	12	12	66	40	26
	盛南	40	5	25	25	17	25	24	27	12	62	25	21
	厨川	70	18	35	45	29	42	45	25	16	96	50	44
	都南	50	10	16	31	23	38	34	23	15	73	31	31
	玉山	6	1	4	2	0	8	5	7	3	14	8	7
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【性別、年代別、地区別の回答数（24から34）】

		敷地やまわりのバリアフリー化の状況	敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	子どもの遊び場、公園など	緑、水辺などの自然とのふれあい	まちなみ、景観	通勤、通学などの利便	日常の買物、医療・福祉・文化施設などの利便	福祉、介護などの生活支援サービスの状況	子育て支援サービスの状況	親、子、親せきなどの住宅との距離	近隣の人たちやコミュニティとの関わり	無回答
全 体		45	256	168	130	75	449	831	152	40	62	349	36
性別	男	19	100	72	62	36	197	301	49	15	27	137	12
	女	24	153	94	67	39	248	520	99	25	34	205	23
	無回答	2	3	2	1	0	4	10	4	0	1	7	1
年代	20～29歳	0	9	16	7	7	51	43	3	5	3	20	3
	30～39歳	4	33	47	13	16	98	91	3	12	16	31	1
	40～49歳	4	45	36	22	17	126	143	13	8	14	52	3
	50～59歳	6	42	10	20	12	90	160	18	3	9	68	1
	60～69歳	13	71	37	40	14	56	197	55	8	8	84	9
	70歳以上	17	56	22	28	9	25	193	58	4	12	89	18
	無回答	1	0	0	0	0	3	4	2	0	0	5	1
地区	河北	16	87	52	46	26	148	265	41	13	20	117	7
	河南	8	31	12	25	17	60	122	23	9	7	37	4
	盛南	7	35	32	13	11	56	104	24	3	11	50	8
	厨川	9	56	30	23	12	86	183	29	3	9	74	7
	都南	5	40	35	18	9	82	133	27	9	14	59	8
	玉山	0	7	7	5	0	17	24	8	3	1	12	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問 24 今後または将来（老後を含めて），住み替え，住宅のリフォーム，住宅の建て替えを考えていますか。当てはまる方に○を付けてください。

	考えている	考えていない
1 住み替え	1	2
2 リフォーム	1	2
3 建て替え	1	2



すべての項目で「考えていない」の割合が大きくなっている。住み替え等を促進する場合には，目的や課題を把握してその対応を図っていくことが重要と思われる。

【性別、年代別、地区別の回答数（1 住み替え）】

		実数 (人)	考えている	考えていない	無回答
全 体		1970	593	1192	185
性別	男	841	248	515	78
	女	1093	340	657	96
	無回答	36	5	20	11
年代	20～29 歳	133	78	50	5
	30～39 歳	274	147	123	4
	40～49 歳	343	138	191	14
	50～59 歳	344	99	223	22
	60～69 歳	431	88	289	54
	70 歳以上	428	38	310	80
	無回答	17	5	6	6
地区	河北	617	176	393	48
	河南	275	101	147	27
	盛南	257	73	160	24
	厨川	435	122	268	45
	都南	325	112	179	34
	玉山	61	9	45	7
	無回答	0	0	0	0

【性別、年代別、地区別の回答数（2 リフォーム）】

		実数 (人)	考えている	考えていない	無回答
全 体		1970	608	1112	250
性別	男	841	249	488	104
	女	1093	352	604	137
	無回答	36	7	20	9
年代	20～29 歳	133	30	94	9
	30～39 歳	274	72	172	30
	40～49 歳	343	114	195	34
	50～59 歳	344	153	162	29
	60～69 歳	431	154	225	52
	70 歳以上	428	84	256	88
	無回答	17	1	8	8
地区	河北	617	180	373	64
	河南	275	96	142	37
	盛南	257	72	153	32
	厨川	435	130	245	60
	都南	325	105	167	53
	玉山	61	25	32	4
	無回答	0	0	0	0

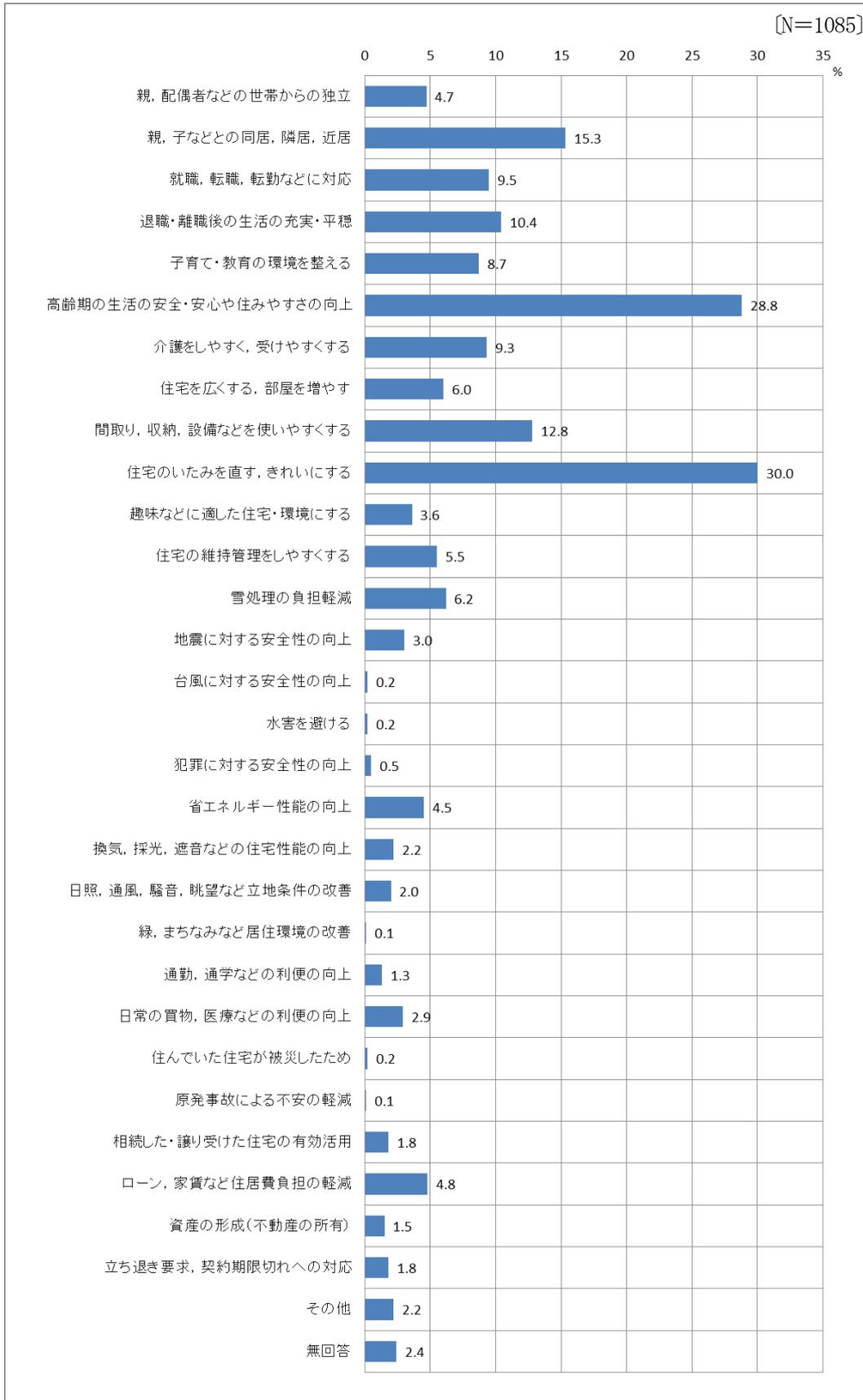
【性別，年代別，地区別の回答数（3 建て替え）】

		実数 (人)	考えている	考えていない	無回答
全 体		1970	219	1441	310
性別	男	841	103	615	123
	女	1093	114	805	174
	無回答	36	2	21	13
年代	20～29 歳	133	22	101	10
	30～39 歳	274	42	201	31
	40～49 歳	343	54	251	38
	50～59 歳	344	38	265	41
	60～69 歳	431	41	311	79
	70 歳以上	428	20	305	103
	無回答	17	2	7	8
地区	河北	617	60	476	81
	河南	275	30	196	49
	盛南	257	29	191	37
	厨川	435	58	304	73
	都南	325	36	227	62
	玉山	61	6	47	8
	無回答	0	0	0	0

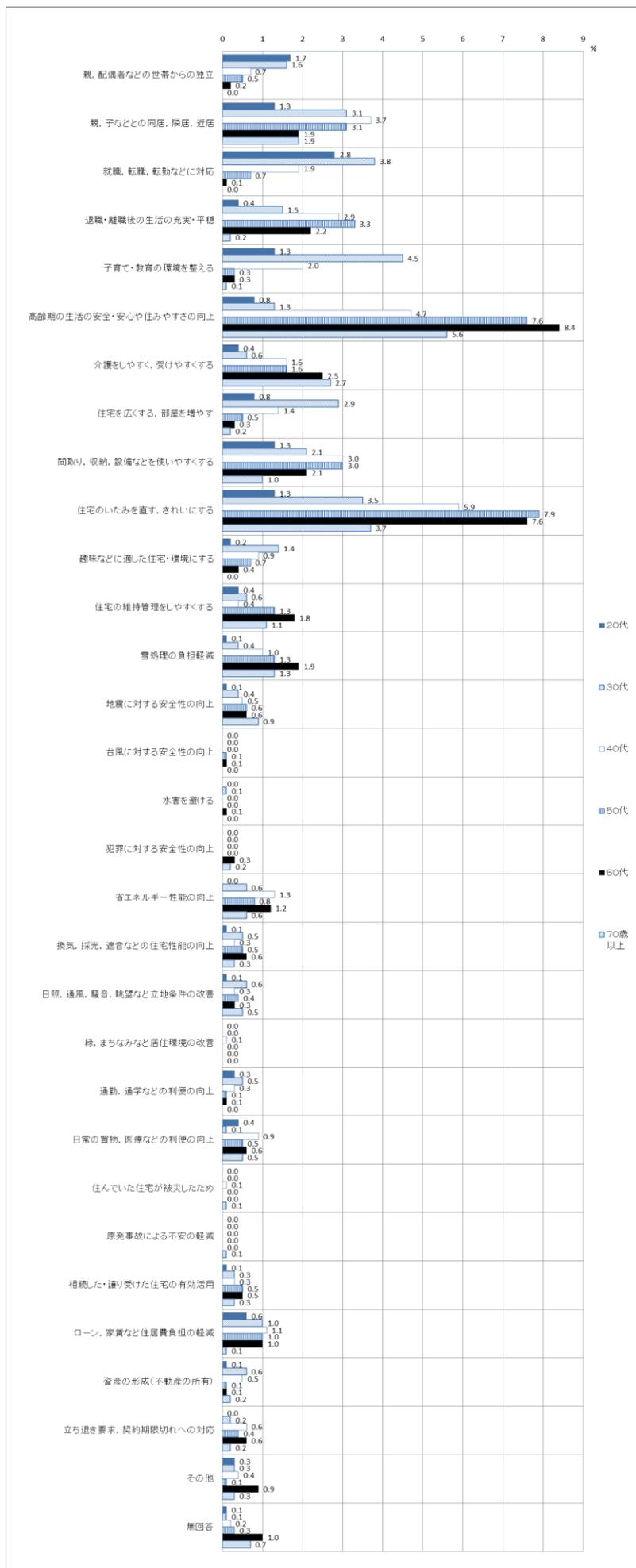
問25 問24で一つでも「1 考えている」を選んだ方にお聞きします。住み替え、リフォーム、建て替えの目的は何ですか。最も当てはまるものから2つまで○を付けてください。

- 1 親，配偶者などの世帯からの独立
- 2 親，子などとの同居，隣居，近居
- 3 就職，転職，転勤などに対応
- 4 退職・離職後の生活の充実・平穩
- 5 子育て・教育の環境を整える
- 6 高齢期の生活の安全・安心や住みやすさの向上
- 7 介護をしやすく，受けやすくする
- 8 住宅を広くする，部屋を増やす
- 9 間取り，収納，設備などを使いやすくする
- 10 住宅のいたみを直す，きれいにする
- 11 趣味などに適した住宅・環境にする
- 12 住宅の維持管理をしやすくする
- 13 雪処理の負担軽減
- 14 地震に対する安全性の向上
- 15 台風に対する安全性の向上
- 16 水害を避ける
- 17 犯罪に対する安全性の向上
- 18 省エネルギー性能の向上
- 19 換気，採光，遮音などの住宅性能の向上
- 20 日照，通風，騒音，眺望など立地条件の改善
- 21 緑，まちなみなど居住環境の改善
- 22 通勤，通学などの利便の向上
- 23 日常の買物，医療などの利便の向上
- 24 住んでいた住宅が被災したため
- 25 原発事故による不安の軽減
- 26 相続した・譲り受けた住宅の有効活用
- 27 ローン，家賃など住居費負担の軽減
- 28 資産の形成（不動産の所有）
- 29 立ち退き要求，契約期限切れへの対応
- 30 その他（)

【全体】



「住宅のいたみを直す, きれいにする」の割合が30.0%と最も高く, 次いで「高齢期の生活の安全・安心や住みやすさの向上」の割合が28.8%と続いた。住み替え等を促進する場合, これらの支援を検討する必要があると思われる。



【年代別】

40代以上は全体と同様、「住宅のいたみを直す、きれいにする」、「高齢期の生活の安全・安心や住みやすさの向上」が上位2項目に挙げられているのに対して、20代は「就職、転職、転勤などに対応」、「親、配偶者などの世帯からの独立」、30代は「子育て・教育の環境を整える」、「就職、転職、転勤などに対応」の順に多く挙げられている。年代別の住み替え等を促進する場合、これら年代別目的に対する支援が有効と思われる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・区画整理事業のため
- ・税対策

【性別、年代別、地区別の回答数（全体、1から15）】

		実数	親，配偶者などの世帯からの独立	親，子どもなどの同居，隣居，近居	就職，転職，転勤などに対応	退職・離職後の生活の充実・平穩	子育て・教育の環境を整える	高齢期の生活の安全・安心や住みやすさの向上	介護をしやすい，受けやすくなる	住宅を広くする，部屋を増やす	間取り，収納，設備などを使いやすくなる	住宅のいたみを直す，きれいにする	趣味などに適した住宅・環境にする	住宅の維持管理をしやすいにする	雪処理の負担軽減	地震に対する安全性の向上	台風に対する安全性の向上
全 体		1980	51	166	103	113	94	312	101	65	139	326	39	60	67	33	2
性別	男	860	17	70	38	63	37	140	38	29	53	134	22	22	32	15	1
	女	1093	33	94	64	50	56	168	61	34	84	189	17	35	32	18	1
	無回答	27	1	2	1	0	1	4	2	2	2	3	0	3	3	0	0
年代	20～29歳	159	18	14	30	4	14	9	4	9	14	14	2	4	1	1	0
	30～39歳	351	17	34	41	16	49	14	7	31	23	38	15	7	4	4	0
	40～49歳	399	8	40	21	31	22	51	17	15	33	64	10	4	11	5	0
	50～59歳	402	5	34	8	36	3	83	17	5	33	86	8	14	14	6	1
	60～69歳	408	2	21	1	24	3	91	27	3	23	83	4	19	21	7	1
	70歳以上	245	0	21	0	2	1	61	29	2	11	40	0	12	14	10	0
	無回答	16	1	2	2	0	2	3	0	0	2	1	0	0	2	0	0
地区	河北	577	16	44	35	36	16	92	27	21	44	101	9	21	29	8	0
	河南	302	8	28	17	15	12	56	19	4	18	46	4	7	10	4	0
	盛南	243	2	30	12	9	22	37	14	8	16	36	7	8	6	1	0
	厨川	446	11	37	17	29	21	65	23	14	32	74	13	12	8	15	2
	都南	352	13	24	20	20	20	54	15	18	24	55	6	8	13	5	0
	玉山	60	1	3	2	4	3	8	3	0	5	14	0	4	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

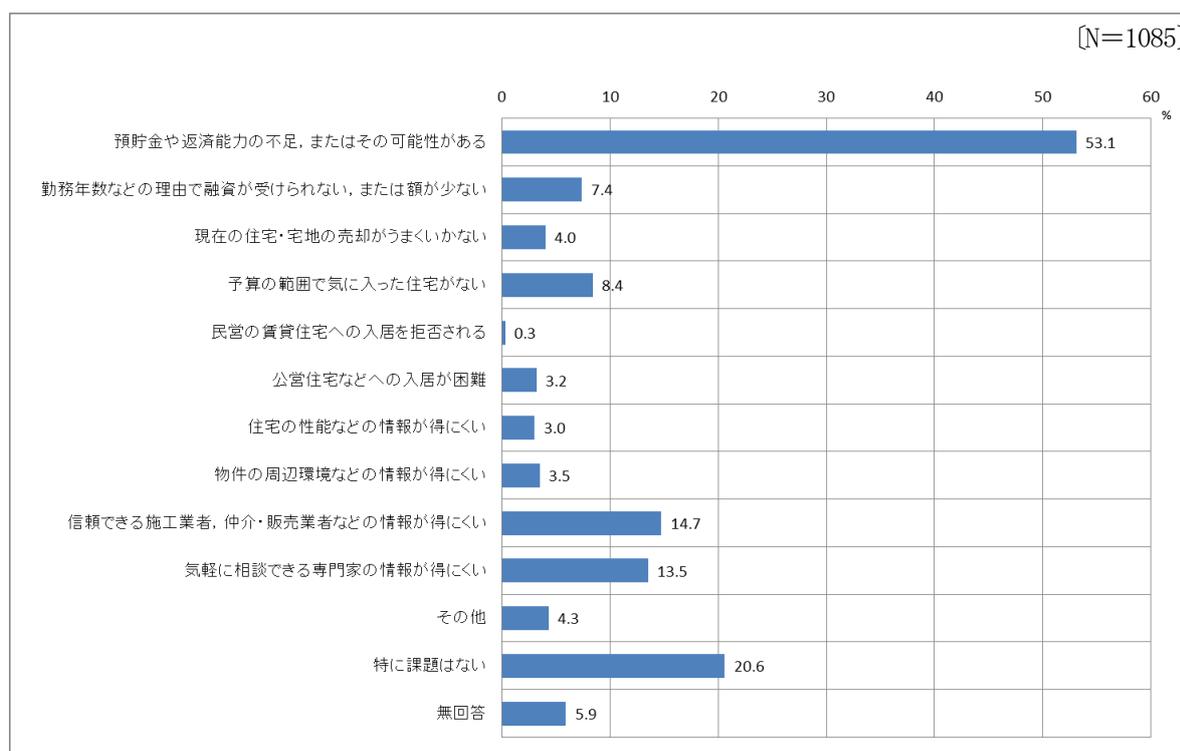
【性別、年代別、地区別の回答数（全体、16から30）】

		水害を避ける	犯罪に対する安全性の向上	省エネルギー性能の向上	換気、採光、遮音などの住宅性能の向上	日照、通風、騒音、眺望など立地条件の改善	緑、まちなみなど居住環境の改善	通勤、通学などの利便の向上	日常の買物、医療などの利便の向上	住んでいた住宅が被災したため	原発事故による不安の軽減	相続した・譲り受けた住宅の有効活用	ローン、家賃など住居費負担の軽減	資産の形成（不動産の所有）	立ち退き要求、契約期限切れへの対応	その他	無回答
全 体		2	5	49	24	22	1	14	31	2	1	20	52	16	20	24	26
性別	男	0	3	28	13	8	1	6	15	1	1	7	24	8	10	13	11
	女	2	2	20	11	13	0	7	16	1	0	13	28	8	10	11	15
	無回答	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年代	20～29歳	0	0	0	1	1	0	3	4	0	0	1	6	1	0	3	1
	30～39歳	1	0	7	5	6	0	5	1	0	0	3	11	6	2	3	1
	40～49歳	0	0	14	3	3	1	3	10	1	0	3	12	5	6	4	2
	50～59歳	0	0	9	5	4	0	1	5	0	0	5	11	1	4	1	3
	60～69歳	1	3	13	7	3	0	1	6	0	0	5	11	1	6	10	11
	70歳以上	0	2	6	3	5	0	0	5	1	1	3	1	2	2	3	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地区	河北	1	3	9	6	2	0	3	8	0	1	7	12	5	5	5	11
	河南	0	0	6	3	6	0	4	7	0	0	6	11	1	3	5	2
	盛南	0	0	10	3	2	0	0	1	0	0	3	6	0	3	5	2
	厨川	0	0	14	6	9	0	1	4	1	0	3	13	5	6	6	5
	都南	1	0	8	5	3	1	3	8	1	0	1	9	5	3	3	6
	玉山	0	2	2	1	0	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問26 問24で一つでも「1 考えている」を選んだ方にお聞きします。住み替え、リフォーム、建て替えの実現上の課題がありますか。当てはまるものから2つまで○を付けてください。

- 1 預貯金や返済能力の不足、またはその可能性がある
- 2 勤務年数などの理由で融資が受けられない、または額が少ない
- 3 現在の住宅・宅地の売却がうまくいかない
- 4 予算の範囲で気に入った住宅がない
- 5 民営の賃貸住宅への入居を拒否される
- 6 公営住宅などへの入居が困難
- 7 住宅の性能などの情報が得にくい
- 8 物件の周辺環境などの情報が得にくい
- 9 信頼できる施工業者、仲介・販売業者などの情報が得にくい
- 10 気軽に相談できる専門家の情報が得にくい
- 11 その他 ()
- 12 特に課題はない

【全体】



「預貯金や返済能力の不足、またはその可能性がある」の割合が53.1%で最も高く、「特に課題はない」を除くと「信頼できる施工業者、仲介・販売業者などの情報が得にくい」の割合が14.7%、「気軽に相談できる専門家の情報が得にくい」の割合が13.5%と続いた。住み替え等を促進する場合、これらの課題解決に対する支援を検討する必要があると思われる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・転勤の可能性がある
- ・区画整理
- ・住宅環境の問題

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	預貯金や返済能力の不足, またはその可能性がある	勤務年数などの理由で融資が受けられない, または額が少ない	現在の住宅・宅地の売却がうまくいかない	予算の範囲で気に入った住宅がない	民営の賃貸住宅への入居を拒否される	公営住宅などへの入居が困難	住宅の性能などの情報が得にくい	物件の周辺環境などの情報が得にくい	信頼できる施工業者, 仲介・販売業者などの情報が得にくい	気軽に相談できる専門家の情報が得にくい	その他	特に課題はない	無回答
全	体	1501	576	80	43	91	3	35	33	38	160	147	47	223	64
性別	男	656	264	42	18	38	2	16	14	15	62	65	19	98	22
	女	826	306	37	25	52	1	19	21	23	95	81	27	122	38
	無回答	19	6	1	0	1	0	0	0	0	3	1	1	3	4
年代	20～29歳	125	51	12	2	14	0	2	3	3	14	3	2	22	2
	30～39歳	270	112	12	4	27	0	3	9	12	31	20	9	41	2
	40～49歳	297	127	22	5	19	1	6	8	7	28	25	11	37	12
	50～59歳	307	119	22	7	10	1	5	4	7	33	35	9	48	11
	60～69歳	313	103	6	15	11	0	14	4	6	40	43	8	50	17
	70歳以上	177	61	6	10	9	1	5	7	2	13	20	7	23	18
	無回答	12	3	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	2	2
地区	河北	432	158	20	17	23	1	8	11	8	46	46	19	70	16
	河南	236	84	12	8	13	0	7	6	7	30	26	7	36	9
	盛南	184	65	9	3	13	0	5	2	7	18	20	5	33	9
	厨川	325	142	20	5	22	1	10	9	6	28	24	10	44	15
	都南	283	103	17	9	19	1	5	7	9	35	27	6	37	13
	玉山	41	24	2	1	1	0	0	0	1	3	4	0	3	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第21回市民意識調査結果報告書
平成27年12月発行

発行・編集 盛岡市市長公室広聴広報課
〒020-8530 盛岡市内丸12番2号
電話 (019) 626-7517 (直通)

この報告書は再生紙を使用しています。